

事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

日本財団御中

海と日本プロジェクトin佐賀 実施報告書

2021年3月31日

海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

実施概要

1. 事業目的

佐賀県内で海関連イベントを実施する企業・団体が個々にメッセージを発信するのではなく、連携して取り組むことで、県民の海への関心を高めることを目的に実行委員会を組成、佐賀県中の海関連事業を集約し、広報を一元化することで、全県的なムーブメントにしておくこと目的にしている。また、「海と日本プロジェクト」の地方事務局としての機能も果たし、7月23日の「海の日」に関連して行われるさまざまな事業の波及をサポートしていく。

2. 契約時事業目標の達成状況

【助成契約書記載の目標】

- ① 応援動画を30回放送することで海と日本プロジェクトの認知拡大。
県民の4割が知っているという状態を目指す。
- ② OA回数を確認し、報告書の作成。また、オリジナルイベントなどでアンケートを取り、状況を確認する。

【目標の達成状況】

- ① 県内の海に関するイベントやアクティビティーなどを取り上げ2分程度の動画を30本制作し放送した。
- ② 新型コロナで自粛中にお家でイラストを描いてもらい集めたもので紹介動画、海を楽しんでいる人のインタビュー、海ごみを減らすための動画を3種類合計で316回放送した。

オリジナルイベント加者のアンケートでは、「イカの不漁問題に改めて気づいた。」、「当たり前のように食べている魚を獲る大変さ、唐津の海が抱えている海洋問題を知ることができた。」、「一緒に学んだ班のみんなと協力しておいしい魚ロッケが作れた」など、漁業体験、魚ロッケづくりから学びを得た声が特に多かった。

3. 事業実施によって得られた成果

オリジナルイベント「魚ロッケ開発」では、唐津の海の漁師増本さんの指導のもと小型定置網漁体験や、玄海水産振興センターの所長増田さんの講演で海の現状を学び、最後に佐賀で魚ロッケ発祥の藤川蒲鉾の協力のもと小学生にオリジナルの魚ロッケを作ってもらい、唐津の海の変化を楽しく学ぶことができた。

また、子供たちが描いた海の想いを込めたポスターのデザインをパッケージに利用して、子供たちが考えたオリジナル魚ロッケを藤川蒲鉾と連携し商品化。唐津市の市場で販売し、県民に唐津の海の変化を周知することができた。

4. 成功したこととその要因

推進パートナーとの連携において、県内でも有名なレストランとコラボし、佐賀のイカを使ったコラボ料理を開発し、さらに取材も行い応援動画で紹介したことで客足も増え、海と日本プロジェクトをPRできた点がよかった。

また、10月の佐賀県主催イベント「佐賀さいこうフェス」で、新型コロナ対策を講じた上で海と日本プロジェクトのブースを出展しミニ水族館などを設置し海と日本プロジェクトをPRしたことで参加者からは「コロナ禍で水族館に行きにくかったので見ることができてよかった。」などの声がありよかった。

5. 失敗したこととその要因

オリジナルイベントで小学生が開発した「オリジナル魚ロッケ」のアウトプット(販売)の部分で足りない点があった。子供達の様子は、海応援動画、サガテレビのニュース、西日本新聞の記事などで紹介したが、後からこのことを知った人から魚ロッケを食べたかったとの声があり、今回はWEB、SNSなどももっと使い幅広い層にリーチできるような工夫をしたい。

6. 活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

新型コロナの影響でなかなかリアルでの打ち合わせなどができず、事務局内でコミュニケーション不足を感じる部分があった。後半になるにつれてオンラインツールなどで打ち合わせに慣れて来てリアルと変わらないぐらいまでなったが、来年度はリアルで会えない中でも積極的にコミュニケーションを取り、よりよい活動を行なっていきたい。

海応援動画で予定していた取材先のイベント・催し物などが軒並み中止となり、再調整に時間を要してしまった。来年度以降もコロナ禍の状況は続く可能性があるので、取材先は事前に多めに決めておき、臨機応変に対応する必要があると感じた。

事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

1. 推進パートナー登録・連携事例

事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

1-(1) 推進パートナー登録企業・団体リスト

No.	企業・団体名	代表者
1	有限会社れんげどう	岩松宏明
2	株式会社まんてん	高尾秀樹
3	(有) 谷田建設	谷田将拓
4	イタリア酒場 King Kitchen	江口裕太
5	夏秋冷菓	夏秋剛
6	第一生命保険株式会社 佐賀支社	鹿島田 浩一
7	第一生命保険株式会社 佐賀東営業オフィス	横町寿美子
8	第一生命保険株式会社 佐賀西営業オフィス	安東翔太
9	第一生命保険株式会社 神埼営業オフィス	金丸勇介
10	第一生命保険株式会社 大川営業オフィス	松永翔吾
11	第一生命保険株式会社 三養基営業オフィス	辻浩典
12	第一生命保険株式会社 佐賀北営業オフィス	田中都子
13	第一生命保険株式会社 佐賀中央営業オフィス	平山羊旨子
14	第一生命保険株式会社 江北営業オフィス	佐藤大
15	第一生命保険株式会社 唐津中央営業オフィス	今西正明
16	第一生命保険株式会社 伊万里営業オフィス	中場貴之
17	第一生命保険株式会社 武雄営業オフィス	村田諭
18	第一生命保険株式会社 嬉野営業オフィス	石川修一
19	HanaMarcheConnect	靈山侑菜
20	株式会社RANCH	飯田和也

事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

1-(2) 推進パートナーとの連携事例

項目	内容
企画名称	コラボメニュー開発(佐賀県産ヤリイカごはん)
連携先名および 連携先の事業内容	連携先名: キングキッチン 事業内容: 飲食店(イタリアン)
連携先が海プロに 賛同した理由や エリア事務局との関係	地場の水産資源を味わってもらい、 その大切さを伝えることで活動に貢献していきたい。 事務局とはフェスなどの主催イベントでの出店で協力関係がある。
連携内容	佐賀県産のヤリイカを使ったオリジナルメニュー開発
対象者の属性および規模、 物量	来場者平均: 1日 40人 オリジナルメニュー提供数: 約200個
連携開始	2020/09/09
連携終了	2020/09/30
実施日数	22日
事業場所	佐賀県佐賀市白山2丁目7-1エスプラッツ1F「イタリア酒場 King Kitchen」
ロゴ掲出/PJ名発信	①メニューブックにオリジナルメニューの 専用POP(助成ロゴ・PJ名掲出)を差込。 ②施設内にオリジナルメニューのポスターの掲出。
情報深度	専用メニューに海プロ5つのアクションと海プロの説明など記載 POPに・ポスターにQRコードを掲載、海プロのニュースサイトへ誘導する。
オリジナル商品・サービス開発	佐賀県産ヤリイカを使った魚介ごはんの開発
情報発信力 (ニュースサイト、テレビ放送)	海プロのニュースサイト、海応援動画で開発を報告。 店長に出演いただき海プロへの賛同の趣旨を語ってもらった。

1-(2) 推進パートナーとの連携事例



1-(2) 推進パートナーとの連携事例

項目	内容
企画名称	アクトクリーンSAGA 2020
連携先名および 連携先の事業内容	連携先名: 佐賀県 事業内容: ブース出展し、広報活動
連携先が海プロに 賛同した理由や エリア事務局との関係	森川海人プロジェクトと誼い、海と川と森がつながっていることを県としてもアピールし、そういう活動に継続的に取り組んでいる。
連携内容	有明海清掃活動イベント「アクトクリーンSAGA」にブース出展し、のぼり・横断幕の掲示、ブース来場者にオリジナル缶バッジをプレゼント
対象者の属性および規模、 物量	イベント全体参加人数: 約700人 連携施策参加人数: 約400人
連携開始	2020/08/29
連携終了	2020/08/29
実施日数	1日
事業場所	佐賀市 東与賀海岸
ロゴ掲出/PJ名発信	横断幕・のぼりでロゴの掲示、オリジナルバッジにロゴ掲出。 配布する缶バッジにロゴ掲示。
情報深度	有明海に生息している海洋生物のイラストが描かれた缶バッジを配布 (ムツゴロウ、ワラスボ、シオマネキ、トビハゼなど) その生物の生態系・特徴などを記したリーフレットも併せて配布。 リーフレットに5つのアクションと海プロの説明などを明記。
情報発信力 (ニュースサイト、テレビ放送)	ニュースサイトでの報告、海応援動画でテレビ放送
備考・補足情報	イベントオリジナルの買い物バッグが参加者全員に配布された。

事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

1-(2) 推進パートナーとの連携事例



事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

1-(2) 推進パートナーとの連携事例

項目	内容
企画名称	オリジナルメニュー販売
連携先名および 連携先の事業内容	「BAR EMION」
連携先が海プロに 賛同した理由や エリア事務局との関係	海プロの趣旨に賛同いただき、昨年はオリジナルドリンク開発で協力いただき今年も協力することに。
連携内容	オリジナルドリンク&佐賀イカのアヒージョ
対象者の属性および規模、 物量	来場者週平均人数:1日30人
連携開始	2020/11/20
連携終了	2020/12/10
実施日数	21日
事業場所	佐賀県佐賀市中央本町8-3セントラルシティ2F 「BAR EMION」
ロゴ掲出/PJ名発信	①オリジナルメニューの専用POP(助成ロゴ・PJ名掲出) ②施設内に横断幕掲出。
情報深度	オリジナルメニューに5つのアクションと 海プロの説明など記載 POPに・ポスターにQRコードを掲載、 海プロのニュースサイトへ誘導する。
オリジナル商品・サービス開発	EMION×海プロin佐賀のオリジナルドリンクと 佐賀のイカを使ったアヒージョのをセット販売

事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

1-(2) 推進パートナーとの連携事例



1-(2) 推進パートナーとの連携事例

項目	内容
企画名称	佐賀さいこうフェス
連携先名および 連携先の事業内容	連携先名: 佐賀県 事業内容: ブース出展し、広報活動
連携先が海プロに 賛同した理由や エリア事務局との関係	森川海人っプロジェクトと誼い、海と川と森がつながっていることを県としてもアピールし、そういう活動に継続的に取り組んでいる。
連携内容	「佐賀さいこうフェス」にブース出展し、のぼり・横断幕の掲示、応援動画映像をテレビモニターで配信。ミニ水族館として海の生き物を展示。ブース来場者に海の生き物のぬりえをもらい、その絵を缶バッジにしてお渡しする。
対象者の属性および規模、 物量	イベント全体参加人数: 約13500人 連携施策参加人数: 約1000人
連携開始	2020/10/24
連携終了	2020/10/25
実施日数	2日
事業場所	佐賀さいこうフェス会場(佐賀県立博物館・美術館前広場)
ロゴ掲出/PJ名発信	横断幕・のぼりでロゴの掲示。ぬりえ台紙にロゴ掲出
情報深度	海応援動画映像をブース内で配信
アクティビティ	①プール(たらい)を2個設置し海洋生物の観察 佐賀大学藤井教授をお招きし、生き物のリアルタイム解説を行う。 ②海の生物に関するオリジナル缶バッジ作成 海の生き物を観察した後に、海の生き物のぬりえをもらう。 ぬりえを描いてくれた人の絵は、その場で缶バッジにしてお渡しする。
情報発信力 (ニュースサイト、テレビ放送)	ニュースサイトで事後に記事配信 https://saga.uminohi.jp/report/20201027/

1-(2) 推進パートナーとの連携事例



事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

2. ニュースサイト運営

2-(1) 投稿記事リスト

No.	投稿日	記事タイトル
1	2020/04/21	泳げみんなのお魚プロジェクト佐賀
2	2020/04/28	唐津市の西の浜で海開き「新型コロナが落ち着いてから来て」
3	2020/05/23	コロナに負けるな！うみダンス！
4	2020/05/25	泳げ！みんなのお魚プロジェクト 応募作品発表 No.1
5	2020/05/26	泳げ！みんなのお魚プロジェクト 応募作品発表 No.2
6	2020/05/26	虹の松原 松くい虫防除でヘリから薬剤散布
7	2020/05/27	泳げ！みんなのお魚プロジェクト 応募作品発表 No.3
8	2020/05/27	日本財団が救急医療施設などに総額50億円の支援
9	2020/05/28	泳げ！みんなのお魚プロジェクト 応募作品発表 No.4
10	2020/05/29	泳げ！みんなのお魚プロジェクト 応募作品発表 No.5
11	2020/05/30	おうちで簡単！美味しい！うみ料理
12	2020/05/31	origamiプロジェクトって何？
13	2020/06/01	海岸ごみでロボットを作ろう！5月30日は「ごみゼロの日」
14	2020/06/15	海洋プラスチックごみパネル展 レジ袋有料化を前に開催
15	2020/06/26	8年間海岸清掃を継続 唐津海保が唐津市の幼稚園を表彰
16	2020/06/28	「唐津Qサバ」特別販売 30分で完売 コロナで出荷量減
17	2020/06/30	漁協鹿島市役所 好生館に4,400枚のノリ贈呈
18	2020/07/01	「海と日本プロジェクトin佐賀」番組スタート
19	2020/07/01	知っていますか？海の森
20	2020/07/02	カブトガニの産卵時期を前に地元の高校生が清掃活動
21	2020/07/06	唐津の海をプロデュース「おいしく知ろう唐津の海」
22	2020/07/08	アスパラ作りと海の関係！？
23	2020/07/14	園児がカサゴの稚魚1100匹を放流
24	2020/07/15	有明海の魅力を発信！鹿島市ミニ水族館
25	2020/07/17	「やっぱり塩田川はいいな」小学生がウナギとモクズガニを放流
26	2020/07/17	唐津市の小学生が海洋スポーツに挑戦！
27	2020/07/18	漁業者らが玄海沿岸を一斉清掃
28	2020/07/20	小学生などがカブトガニの幼生を放流
29	2020/07/20	唐津市内の小中学校教諭が海の安全教室
30	2020/07/20	「神集島をきれいに」離島で小学生が海岸を清掃

事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

No.	投稿日	記事タイトル
31	2020/07/22	「あなたにとって海とは?」
32	2020/07/29	海洋ゴミ問題を考えよう「佐賀市 環境パネル展」
33	2020/08/04	カブトガニ産卵地 清掃活動
34	2020/08/05	さがっ子リレー放流
35	2020/08/11	鹿島市こどもラムサール観察隊
36	2020/08/11	唐津の海をプロデュース「おいしく知ろう唐津の海」
37	2020/08/12	大志小学校 海レジャー体験
38	2020/08/18	浜崎海岸に新登場!新しいマリンアクティビティとは?
39	2020/08/19	海洋ごみ削減で多業種が連携!
40	2020/08/19	【応募を締め切りました】親子で体験!さばける塾in佐賀
41	2020/08/21	県絶滅危惧種「アゲマキ」も!高校生が干潟の生物調査
42	2020/08/22	小学生が”オリジナル魚ロック”作りに挑戦
43	2020/08/25	ムツゴロウになれる!?海遊ふれあいパーク「干潟体験場」
44	2020/08/26	おいしく知ろう!唐津の海
45	2020/08/26	海と日本プロジェクト スポGOMI甲子園 佐賀県大会募集
46	2020/08/31	東与賀海岸を700人が清掃 3トンのごみ回収
47	2020/09/02	小学生が〇〇〇〇作りに挑戦♪
48	2020/09/09	海に感謝!佐賀の新鮮魚介ごはん
49	2020/09/14	「わかる、つながる、海とエシカル」イベントのご案内(唐津)
50	2020/09/16	親子で思いでづくり!有明海 親子探検隊
51	2020/09/17	たのしい、うみぼす、はじまるよ。海のPRコンテスト「うみぼす2020」作品募集!
52	2020/09/21	マリンスポーツを身近に楽しめる施設に「佐賀県ヨットハーバー」が海の駅に
53	2020/09/23	キレイな海を未来へ!アクトクリーンSAGA
54	2020/09/25	山と海の環境保全へ 県と漁協が「森川海人っ協定締結式」
55	2020/09/29	漁業者悩ませる赤潮 ノリの色落ちをもたらす天敵を調査
56	2020/09/29	中学生が海辺の漂着物を調査 重量は例年の3割ほどに
57	2020/09/30	佐賀の干潟博士
58	2020/10/06	全国29県から海産物約80点 全国海の贈り物フェア
59	2020/10/13	大切な海を守るためにゴミゼロウィーク清掃
60	2020/10/14	地球に優しいスポーツ「スポGOMI甲子園」

事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

No.	投稿日	記事タイトル
61	2020/10/18	18年連続日本一目指しノリの種付け始まる
62	2020/10/20	海のゴミで〇〇〇を作ろう!
63	2020/10/21	海岸沿いを歩いて健康に! 肥前鹿島干潟ウォーキングコース
64	2020/10/25	見て! 描いて! 佐賀さいこうフェスに海プロブース登場!
65	2020/10/26	小学生考案の魚ロックを販売
66	2020/10/28	マリンスポーツをもっと身近に
67	2020/11/19	赤潮発生も順調に育つ 秋芽ノリの初摘み
68	2020/11/26	小学生がワカメ養殖を体験 養殖の大変さ学ぶ
69	2020/11/26	【うみぼす】嬉野小学校1年生が全国グランプリ 有明海のノリをイメージ
70	2020/12/01	佐賀県産秋芽網ノリ今シーズン最初の入札会 約1億6840万枚が出品
71	2020/12/13	川で身動き取れないスナメリを救助 海に戻る
72	2020/12/21	有明海沿岸道路の工事現場で地元の小学生がお絵かき体験
73	2020/12/22	有明海で激減のタイラギ 佐賀県の「人工稚貝」初移植
74	2020/12/24	贈答用のクルマエビ 出荷本格化
75	2021/01/13	技術向上へ 唐津海上保安部 初の年頭訓練
76	2021/01/20	日本財団が福祉施設勤務者向けのPCR検査センター設置
77	2021/01/21	アニメ「サンタカンパニー 真夏のメリークリスマス」上映会
78	2021/01/22	18年連続日本一へ! 有明海で”主力”冷凍網ノリ収穫
79	2021/01/27	佐賀市にマナヅル9羽飛来
80	2021/02/03	地球に優しいスポーツ スポGOMI甲子園 決勝大会
81	2021/02/04	イソギンチャク利用シカキ養殖の生産性増
82	2021/02/05	「味噌汁に・・・」小学生がワカメの収穫体験
83	2021/02/09	海洋ごみ問題について考えよう! アニメ「サンタ・カンパニー」
84	2021/02/10	春の訪れ告げる「シロウオ漁」やな掛け設置
85	2021/02/11	有明海の冷凍網ノリ入札会 西南部では一部色落ちも
86	2021/02/16	東よか干潟にシチメンソウ復活!

2-(2) 投稿記事詳細

No.	1
投稿日	2020年04月21日(火曜日)
記事タイトル	泳げみんなのお魚プロジェクト佐賀
記事本文	<p>佐賀県に住む小学生にお知らせです。 「コロナに負けない!」「海に行きたい!」の思いがこもった海の生き物のメッセージ付きイラストを大募集! 選ばれた作品はサガテレビで放送されるかも!</p> <p>応募締切 2020年5月6日(水曜日) 応募資格 佐賀県内に住む小学生 応募方法 思いを込めて書いた海の生物のイラストにメッセージを添えて、カメラ(スマートフォンなども可)で写真をとり、応募フォームまたはサガテレビアプリから応募ください。</p> <p>備考 お送り頂いたイラストはサガテレビCMやSNSで使用させて頂く予定です。個人情報情報は本プロジェクト以外では使用致しません。</p> <p>たくさんのご応募ありがとうございました。多数応募のため、選ばれた作品はCMで6/1まで放送中! その他の作品も含めてすべての作品をHPで随時紹介させていただきます。</p> <p>主催 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会 お問い合わせ サガテレビ 前田</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	2
投稿日	2020年04月28日(火曜日)
記事タイトル	唐津市の西の浜で海開き「新型コロナが落ち着いてから来て」
記事本文	<p>夏の海水浴シーズンを前に、唐津市の西の浜では県内で最も早く海開きがあり、関係者が海の安全を祈願したよ。</p> <p>唐津市の西の浜では、毎年4月下旬に県内の海水浴場では最も早く海開き式が行われるんだ。</p> <p>26日は新型コロナ感染防止のため神事のみ行い、シーズン中の海の安全や、疫病の沈静を祈願したよ。</p> <p>唐津観光協会の廣瀬克輝さんは「(外に出て)移動するというのが問題になっていますので、(新型コロナが)落ち着いてから唐津の方にお越し頂ければと思います」と話していたよ。</p> <p>唐津観光協会によると今年は新型コロナ感染防止のため、「唐津港まつり海のカーニバルinからつ」や、「虹の松原アクアスロン」は中止するんだって。</p> <p>海水浴場のオープンは7月ごろを予定しているよ。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	3
投稿日	2020年5月23日(土曜日)
記事タイトル	コロナに負けるな!うみダンス!
記事本文	海のことを学べて、海がもっと好きになれる「うみダンス」 うみダンスに挑戦したのは私、橋爪と平川邦明アナウンサー、堀江舞アナウンサー。 家にいながら海を感じることができますよ。 ダンスの映像は30秒頃から。みなさんも是非、踊ってみてくださいね♪



事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

2-(2) 投稿記事詳細

No.	4
投稿日	2020年5月25日(月曜日)
記事タイトル	泳げ！みんなのお魚プロジェクト 応募作品発表 No.1
記事本文	「泳げ！みんなのお魚プロジェクト」たくさんのご応募ありがとうございます！ 応募作品を紹介するよー！



事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

2-(2) 投稿記事詳細

No.	5
投稿日	2020年5月26日(火曜日)
記事タイトル	泳げ！みんなのお魚プロジェクト 応募作品発表 No.2
記事本文	「泳げ！みんなのお魚プロジェクト」たくさんのご応募ありがとうございます！ 応募作品を紹介するよー！



2-(2) 投稿記事詳細

No.	6
投稿日	2020年5月26日(火曜日)
記事タイトル	虹の松原 松くい虫防除でヘリから薬剤散布
記事本文	<p>唐津市にある国の特別名勝・虹の松原を松くい虫の被害から守るため、26日の朝早くにヘリコプターから薬剤がまかれたよ。</p> <p>唐津湾沿岸に広がる虹の松原は長さ約4.5キロのクロマツを中心とした松原で、国の特別名勝に指定されている場所。この時期に松枯れの原因となる松くい虫が羽化するため、活発になる前に駆除しようと上空から薬剤を散布したよ。松原内や周辺の道路を規制したうえで26日朝5時すぎから始まり、ヘリコプターから国が管理する国有林に約4300リットルがまかれたんだ。</p> <p>この取り組みは、1900本余りが被害を受けた翌年の1973年から環境に影響が少ない薬剤を使い毎年行われていて、来月4日には唐津市が管理する民有林にも散布される予定だよ。</p> <p>虹の松原を守るために頑張るヘリコプター、すっごくかっこいいね!</p>



事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

2-(2) 投稿記事詳細

No.	7
投稿日	2020年5月27日(水曜日)
記事タイトル	泳げ！みんなのお魚プロジェクト 応募作品発表 No.3
記事本文	「泳げ！みんなのお魚プロジェクト」たくさんのご応募ありがとうございます！ 応募作品を紹介するよー！



2-(2) 投稿記事詳細

No.	8
投稿日	2020年5月27日(水曜日)
記事タイトル	日本財団が救急医療施設などに総額50億円の支援
記事本文	<p>日本財団は新型コロナウイルスと自然災害に同時に対応するような事態に備え、全国の救急医療施設を対象にドクターカーの配備などに総額50億円を支援すると発表したよ。</p> <p>日本財団によると今回の支援は今後、感染の第2波、第3波や、同時に自然災害が起きた場合でも救急医療が維持できるようにするのが狙いなんだって。</p> <p>全国139の救急医療施設を主な対象に医療従事者の防護やケア、院内感染防止のための器材購入のほか、検査・治療の体制強化を図っているよ。多様な医療用資機材を運び、現場の指揮車としても機能する特殊なドクターカーの配備などに総額50億円の資金支援を行っているんだ。</p> <p>日本財団は、来年は救急医療に関わる人材の育成も支援していくんだって。</p> <p>特殊な機能を持つドクターカーがあれば、皆の生活も安心だね!</p>



事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

2-(2) 投稿記事詳細

No.	9
投稿日	2020年5月28日(木曜日)
記事タイトル	泳げ！みんなのお魚プロジェクト 応募作品発表 No.4
記事本文	「泳げ！みんなのお魚プロジェクト」たくさんのご応募ありがとうございます！ 応募作品を紹介するよー！



事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

2-(2) 投稿記事詳細

No.	10
投稿日	2020年5月29日(金曜日)
記事タイトル	泳げ！みんなのお魚プロジェクト 応募作品発表 No.5
記事本文	「泳げ！みんなのお魚プロジェクト」たくさんのご応募ありがとうございます！ 応募作品を紹介するよー！



2-(2) 投稿記事詳細

No.	11
投稿日	2020年5月30日(土曜日)
記事タイトル	おうちで簡単！美味しい！うみ料理
記事本文	<p>日本財団が推進する「海と日本プロジェクト」の取り組みの一環である「stay home with the sea」より海の食材を使った「おうちで海ごはん」をご紹介します。簡単！美味しい！栄養もGOOD！な「鱈の海苔チーズピカタ」を土田和美先生に教えていただきます。</p> <p><材料(2~3人分)></p> <p><調理方法></p> <p>魚と海苔やチーズ、ゴマでタンパク質とカルシウムなどミネラルも摂れる成長期のお子様にもお勧めしたい一品です。</p> <p>是非、作ってみてくださいね♪</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	12
投稿日	2020年5月31日(日曜日)
記事タイトル	origamiプロジェクトって何？
記事本文	<p>唐津市の東唐津公民館。 ここで、子どもたちだけで活動しているのが「折り紙プロジェクト」のメンバーです。</p> <p>自分たちで作った折り紙を、チャリティーイベントなどで販売。その収益を、震災のあった地域、さらにはアフガニスタンなどに寄付しているんです。</p> <p>代表 瀬戸美羽さん:「世界にはたくさん困っている人たちがいて、自分たちで何か少しでも力になれることがあればやりたいと思って始めました」</p> <p>この折り紙プロジェクトは4年前に発足し、現在16人の子どもたちが参加しています。この日、他のメンバーは密接を避けるため、オンラインで参加していました。</p> <p>そんな折り紙プロジェクトのみんなは、海も大好き。そこで！！</p> <p>永田悠くん:「みんなの海プロジェクトといって月に1回川とか海の清掃活動を行っています。ゴミが多くて自分も嫌だから、何とかしなければいけないと思ったので清掃活動を始めました」</p> <p>代表 瀬戸美羽さん:「今みんなで清掃活動をすることができないので、早くコロナが収束してみんなで活動したいです」</p> <p>困っている人たち。そして、地元の海を守りたい。子どもたちの願い、もっとたくさんの人に届くといいね！</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	13
投稿日	2020年6月1日(月曜日)
記事タイトル	海岸ごみでロボットを作ろう！5月30日は「ごみゼロの日」
記事本文	<p>5月30日の「ごみゼロの日」に合わせ、唐津市では、子供たちが海岸でごみ拾いをしたよ。拾ったごみは家に持ち帰り、ロボットを作ることになっているんだ。</p> <p>この取り組みは、海岸に流れ着いたごみでロボットを制作し、清掃活動の楽しさを発信しようと「唐津ロボット教室」の子供たちが行ったよ。「ごみゼロの日」の5月30日は、およそ30人が参加し、世界的に大きな問題となっているプラスチックごみを中心に、ふるいにかけたりして集めたよ。</p> <p>参加した子供たちは「作ったおもちゃで『これはごみじゃないんだ』って思ってもらって海の生物たちを気持ちよく住ませてあげたい」と言っていたよ。</p> <p>唐津ロボット教室・田中綾講師は「今まで捨てて当たり前だったものを価値に変えて価値の意味をもう一度(生徒たちに)問い直していきたい」と話していたよ。</p> <p>拾ったごみは、子供たちがそれぞれ自宅に持ち帰り、おもちゃやロボットを作るんだって。</p> <p>僕も拾ったごみで、カッコいいロボット作りたいな!!</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	14
投稿日	2020年6月15日(月曜日)
記事タイトル	海洋プラスチックごみパネル展 レジ袋有料化を前に開催
記事本文	<p>7月1日からのレジ袋有料化を前に、佐賀市役所では海洋プラスチックごみの問題などを取り上げたパネル展が開かれているよ。</p> <p>このパネル展は7月1日からのレジ袋有料化を前に、環境保全に関心を高めてもらおうと行われているんだ。</p> <p>会場では海洋プラスチックごみの問題を取り上げたパネルや、佐賀市の東よか干潟に漂着したペットボトルなどのプラスチックごみなども展示し生き物や環境に及ぼす影響を紹介。</p> <p>また、市の職員が所有するおすすめのマイバッグも30点ほど展示されていて、環境を守るためにマイバックを持つことの重要性などを訴えているんだ！</p> <p>環境パネル展は佐賀市役所の市民ホールで、6月25日まで開かれているよ。海ゴミってこんなに大きなものまであるんだね。ぼくたちには何ができるのかな？</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	15
投稿日	2020年6月26日(金曜日)
記事タイトル	8年間海岸清掃を継続 唐津海保が唐津市の幼稚園を表彰
記事本文	<p>8年間にわたり海岸の清掃活動に取り組んだとして唐津市の幼稚園が唐津海上保安部から表彰され、共に海岸を清掃したよ。</p> <p>海上保安庁は子供たちに美しい海の大切さを学んでもらおうと先月30日からの1か月間を「海洋環境保全推進月間」と定め全国的に海岸の清掃活動などを呼びかけているんだ。</p> <p>この取り組みの一環で8年間にわたって海岸の清掃活動を続けている唐津市のリョーユー幼稚園に唐津海上保安部から表彰状が贈られたよ。この後、園児や唐津海上保安部の職員など約100人は虹の松原海岸へ移動し、ペットボトルや空き缶などの漂着ごみを拾い集めたよ。</p> <p>リョーユー幼稚園と唐津海上保安部は来年も一緒に海岸を清掃する予定なんだって！ 継続は力なり！継続してゴミ拾いを行うことで、きれいな海が保たれるといいね♪</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	16
投稿日	2020年6月28日(日曜日)
記事タイトル	「唐津Qサバ」特別販売 30分で完売 コロナで出荷量減
記事本文	<p>唐津市の特産品で、養殖のマサバ、「唐津Qサバ」を通常よりもお得に買うことができる特別販売会が唐津市呼子町で開かれたよ。</p> <p>唐津Qサバは、唐津市と九州大学の共同研究で6年前にブランド化された完全養殖のマサバ。</p> <p>特別販売会は、新型コロナウイルスの影響で4月と5月の出荷量が去年の同じ時期より半分に以下に減っていることを受け、販売促進などにつなげようと、佐賀玄海漁業協同組合が開いたんだ。</p> <p>27日は、通常よりも500円安い1匹1000円で販売。注文を受けたあとに、いけすからサバを引き上げると刺身や三枚おろしなどにして提供されたよ。</p> <p>なかには、刺身をさっそくその場で味わっている人もいたよ。用意した50匹は、開店から30分で売り切れたんだって。</p> <p>おいしい「唐津Qサバ」。たくさんの人に食べてもらえるといいな！</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	17
投稿日	2020年6月30日(火曜日)
記事タイトル	漁協鹿島市役所 好生館に4,400枚のノリ贈呈
記事本文	<p>新型コロナウイルスに対応した医療従事者をねぎらおうと、県有明海漁協の鹿島市支所がこのほど県医療センター好生館にノリを贈ったよ。</p> <p>県医療センター好生館を訪れたのは、県有明海漁協鹿島市支所の浜町事業所の漁業者のみなさん。新型コロナに対応した医療従事者の労をねぎらおうと、焼きノリ約4400枚を贈ったよ。</p> <p>県有明海漁協 鹿島市支浜町事業所ノリ部会 小山敏彦部長:「医療従事者に食べてもらって少しでも元気になってまた頑張ってもらいたい」 県医療センター好生館 桐野高明理事長:「このままいけばいいが第二波・第三波が来ると言われているからそれに備えて元気を蓄えておこうということでありがたい」</p> <p>県内では、先月4日を最後に新たな感染者は出ていないけど、県は首都圏への往来についてやむを得ない場合を除き自粛を呼び掛けているよ。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	18
投稿日	2020年7月1日(水曜日)
記事タイトル	「海と日本プロジェクトin佐賀」番組スタート
記事本文	<p>今年も「海と日本プロジェクトin佐賀」のミニ番組が始まったよ。 今年の海と日本PROJECTin佐賀推進リーダーを担当してくれるのは、サガテレビの橋爪和泉アナウンサー。 佐賀のいろんな海の情報を伝えていくから、みんな見てね！</p> <p>7月 毎週水曜日 11:20～11:25 8月以降 毎週火・水曜日 11:20～11:25 サガテレビで放送中</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	19
投稿日	2020年7月1日(水曜日)
記事タイトル	知っていますか？海の森
記事本文	<p>有明海から顔を出しているのは、竹...ですね。 海から竹が生えるの？杉町さん。 佐賀県有明海漁業協同組合 副組合長理事 杉町省次郎さん「自然に育つならば海もこういう風にならなんでしょうね」 有明海の漁師たちが海に竹を刺して作る海の森。これってどんな効果があるんでしょう？ 「竹を刺すことによって付着生物がつかます。珪藻や貝の幼生です。付着生物が付くことで新しい生態系ができます。」 幼生をエサにする生き物が集まるんですね。実は環境の変化などで有明海の漁獲量は減少。今年6年目となる海の森の成果はどうなのでしょう。 「成果はすぐにはでないです。幼生は1年くらいで付くのですが成長するのに2年くらいかかります。」「生き物が近寄っている話は聞きますが、実際住み着くにはもう少し時間がかかると思います。」</p> <p>佐賀県有明海漁業協同組合 副組合長理事 杉町省次郎さん「有明海砂漠」になってしまっている。改善のためには人間が加勢する」 宝の海を取り戻したい。挑戦は続きます。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	20
投稿日	2020年7月2日(木曜日)
記事タイトル	カブトガニの産卵時期を前に地元の高校生が清掃活動
記事本文	<p>全国有数のカブトガニの繁殖地として国の天然記念物に指定されている伊万里市の多々良海岸などで、産卵の時期を前に地元の高校生が清掃活動をしたよ。</p> <p>清掃活動をしたのは、伊万里高校の生徒、約80人です。カブトガニは夏、卵を産むために、つがいで浜辺にやってくるんだけど、ごみなどがあると産卵の妨げになることから、伊万里高校が毎年この時期に海岸を清掃しているんだ。2日は約1時間にわたり、流れ着いた木の枝など2トントラック1台分のごみを拾い集めたよ。</p> <p>男子生徒:「カブトガニは絶滅危惧種なので今年もちゃんと産卵ができるようにしていきたいなと思いました」</p> <p>産卵のピークを迎える7月20日から25日には、日中の満潮に合わせて伊万里市教育委員会の担当者らが現地で解説するんだって。沢山のカブトガニが快適な海岸で産卵できるといいね！</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	21
投稿日	2020年7月6日(月曜日)
記事タイトル	唐津の海をプロデュース「おいしく知ろう唐津の海」
記事本文	<p>小学5.6年生を対象に唐津の海を学ぶイベントが開催！ 1日目は、船に乗って漁業体験やBBQ、唐津の海についての講演、魚ロッケ制作の見学。 2日目は、教室でオリジナル魚ロッケの開発、海についてのポスター制作を行う予定で、特別ゲストおほしんたろうさんも参加するよ♪</p> <p>開催日 8月1日(土)7:30～18:00 8月22日(土)8:00～18:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 集合場所時間 ● 持参品 ● 体験場所・施設について ● 新型コロナウイルスに関して ● その他 ● お問い合わせ <p>(株)エンターアイ おいしく知ろう唐津の海 係</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	22
投稿日	2020年7月8日(水曜日)
記事タイトル	アスパラ作りと海の関係！？
記事本文	<p>標高996メートルの太良町にそびえる多良岳。この山の中腹にある森にアスパラを専門で育てている農園「A-noker(ええのうかー)」があります。</p> <p>減農薬そして、太良町のおいしい水で作ったアスパラは、「森のアスパラ」というブランドで、主に首都圏や料亭などに出荷されています。</p> <p>A-noker 安東浩太郎社長:「私自身がこの太良町を大好きになって、太良の環境に惚れ込んだ。環境を壊さないように、太良の山と海と一緒に無理のないアスパラ栽培を意識して作っています。」</p> <p>でも森で作るアスパラがいったい海とどう繋がっているのでしょうか？</p> <p>A-noker 安東浩太郎社長:「太良町でとれる竹崎カキ・竹崎カニ。こういった殻を肥料に与えることでおいしいアスパラができる。みずみずしくて、筋のない柔らかいアスパラができます。」</p> <p>山のおいしい水と海の贈り物。この二つが合わさっておいしいアスパラができるんですね。</p> <p>A-noker 安東浩太郎社長:「太良町に来た時にこの土地が大好きでこの環境に惚れ込んだので、海と山が繋がっているところを農業で体現したいと思っています。」</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	23
投稿日	2020年7月14日(火曜日)
記事タイトル	園児がカサゴの稚魚1100匹を放流
記事本文	<p>唐津市で地元の子供たちがカサゴの稚魚約1100匹を放流し、海の環境を守ることの大切さを学んだよ。</p> <p>唐津市の西の浜海水浴場でカサゴの稚魚を放流したのは昭和幼稚園の園児ら96人。</p> <p>「さがっ子リレー放流」と名付けられたこのイベントは、子供たちに魚を身近に感じ、海の環境を守ることの大切さを学んでもらおうと県などが毎年開いているんだ。園児らは、県の施設で今年1月下旬に生まれ、体長8センチほどに育ったカサゴの稚魚約1100匹を次々と海へ放したよ。</p> <p>園児:「楽しい」「可愛かったですQ上手くできましたか?戻ってきました」</p> <p>この放流事業は県内の漁獲量の確保も目的とされていて約3年で体長30センチほどに育ち漁の対象となるんだって! カサゴさん、立派なお魚になれるといいね♪</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	24
投稿日	2020年7月15日(水曜日)
記事タイトル	有明海の魅力を発信！鹿島市ミニ水族館
記事本文	<p>広大な有明海の干潟に面した鹿島市の干潟交流館。その一角にミニ水族館があります。</p> <p>ムツゴロウやシマフグ、ビゼンクラゲなど有明海にいる生き物を季節替わりで展示。見て触れて楽しめる水族館になっています。</p> <p>鹿島市干潟交流館 藤井直紀さん「有明海の生き物を見てもらうというのが大きな目的で、魚であったりカニであったり貝であったりそういうものを中心に見てもらうのが目的です。」「生き物の標本作りや、実際に干潟に行くとってきた生き物をどんな生き物かを調べる体験をしたり、干潟体験も受け付けているので体験することもできます。」</p> <p>また、ミニ水族館のお隣には展望デッキもあって有明海を一望できるのです。</p> <p>鹿島市干潟交流館 藤井直紀さん「昔の有明海と今の有明海はちょっと違って、出てくる生き物も違う。そういうものも紹介していただきますので、有明海ってどういう所なのかなって実際に考えてもらいたい。」「子どもたちが大人になった時に、有明海をどう活用していくかというのを考えてもらいたい。」</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	25
投稿日	2020年7月17日(金曜日)
記事タイトル	「やっぱり塩田川はいいな」小学生がウナギとモズガニを放流
記事本文	<p>地元の川の良さについて知ってもらおうと嬉野市の小学生がウナギとモズガニを川に放流したよ。</p> <p>嬉野市塩田町の塩田川の支流・流海川でウナギとモズガニを放流したのは、塩田小学校の4年生約30人。学校では1年を通して塩田川の歴史などについて勉強していて、稚魚の放流は7年ほど前から毎年塩田地区地域コミュニティと一緒にやっているんだ。</p> <p>16日放流したのはウナギの稚魚80匹とモズガニ800匹で、児童たちは持参したバケツを使ったり手でつかんだりしてそっと放流していたよ。</p> <p>児童:「カニに一回挟まれて痛かったけど楽しかった」「やっぱり塩田川はいいなと思う」「大きくなってまた塩田川に帰ってきてほしい」</p> <p>16日放流した稚魚は3年ほどかけてウナギが体長約50センチモズガニは甲羅の幅が約10センチほどに成長し漁の対象になるんだって！</p> <p>ウナギさんとモズガニさん、大きくなってね～！</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	26
投稿日	2020年7月17日(金曜日)
記事タイトル	唐津市の小学生が海洋スポーツに挑戦！
記事本文	<p>スポーツを通して海の大切にする心を育んでもらおうと、唐津市の小学生がヨットやシーカヤックなどに挑戦したよ。</p> <p>唐津市でヨットやシーカヤックなどの海のスポーツを体験したのは、唐津市立大志小学校の3年3組の児童28人。</p> <p>海を大切にする心を育んでもらおうと大志小学校では総合的な学習の一環として3年前から毎年海のスポーツを体験する時間を設けているんだ。</p> <p>児童たちは、3つのグループに分かれヨットやシーカヤックのほかクルーザーに乗り込み、実際に帆の向きを変えたりパドルをこいだりして、約2時間半海を楽しんでいたよ。</p> <p>この体験教室は、今年9月にも行われるんだって。</p> <p>この体験学習を通じてもっともっと海を大好きになってほしいな！</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	27
投稿日	2020年7月18日(土曜日)
記事タイトル	漁業者らが玄海沿岸を一斉清掃
記事本文	<p>海的环境を守ろうと玄海の沿岸一帯で18日、漁業者らが一斉に清掃活動を行ったよ。</p> <p>「玄海クリーンアップ作戦」と名付けられたこの清掃活動は、海の豊かな環境を守ろうと漁業関係者などが毎年行っていて、今年で17回目です。</p> <p>18日は、唐津市や玄海町、伊万里市の海岸で一斉に清掃活動が行われたんだ。このうち呼子港周辺では、140人ほどが参加し、海に漂流していたロープや網、プラスチックゴミなどを回収したよ。</p> <p>佐賀玄海漁業協同組合・川崎和正組合長:「綺麗にして皆気持ちよく海を使って漁港を使っていたきたいと思います」</p> <p>来月29日には、有明海沿岸で一般の人も参加もできる清掃活動が行われる予定なんだって。</p> <p>みんなで協力して清掃活動を行うことで唐津の海がもっときれいになるといいね!</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	28
投稿日	2020年7月20日(月曜日)
記事タイトル	小学生などがカブトガニの幼生を放流
記事本文	<p>全国有数のカブトガニの繁殖地伊万里市の多々良海岸で、地元の小学生などがカブトガニの幼生を放流したよ。</p> <p>カブトガニの幼生を放流したのは、伊万里市にある牧島小学校の6年生と、伊万里高校の理化・生物部それに地域の保護団体などあわせて50人。</p> <p>繁殖地の多々良海岸周辺は国の天然記念物にも指定されていて、伊万里市では毎年市内の小学校や高校などと協力して海岸の清掃活動やカブトガニの卵の保護、幼生の放流といった保護活動をしているんだ。20日放流したのは1年かけて育てた約1600匹の幼生で、児童たちは海岸の潮だまりにゆっくり流していたよ。</p> <p>牧島小学校6年生:「楽しかった死なずに戻ってきてほしい」「カブトガニがいなかったらこういう活動ができないのでいてよかった」</p> <p>伊万里高校理化 生物部2年生:「今回放流したカブトガニが生き残ってくれてまた、多々良海岸に産卵に来てもっとカブトガニの数が増えてほしい」</p> <p>多々良海岸には今年は今月中旬ごろからカブトガニのつがい産卵に来ていて、伊万里高校の理化・生物部では卵をアカエイなどから守るため今月末から2週間おきに卵を保護し、1年かけ育てていくんだって。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	29
投稿日	2020年7月20日(月曜日)
記事タイトル	唐津市内の小中学校教諭が海の安全教室
記事本文	<p>夏のレジャーシーズンを前に唐津市の港で海の安全について学ぶ教室が開かれ、市内の小学校教諭が救助方法などを確認したよ。</p> <p>この教室は夏のレジャーシーズンに備えて海での事故防止を呼びかけようと、毎年この時期に唐津海上保安部と県水難救済会が開いているんだ。</p> <p>20日は唐津市内の小学校教諭5人が参加し、おぼれている人を助ける際は潮の流れを確認することや相手の後ろから抱え込むことなど、注意点について指導を受けていたよ。</p> <p>参加した教諭:「(児童は)夏休みに入ってプールや川、海に保護者と行かれるところもあると思うので、しっかり子供たちに今日得た知識を返していこうかなと。教職員にも共有していこうかなと思う」</p> <p>唐津海上保安部は、海上で事件や事故が発生した際、緊急通報先である118番を活用するよう呼びかけているよ。</p> <p>海の緊急連絡先は118番！ぼくも覚えたよ♪</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	30
投稿日	2020年7月20日(月曜日)
記事タイトル	「神集島をきれいに」離島で小学生が海岸を清掃
記事本文	<p>海の日を前に唐津市にある神集島の海岸で、小学生が漂着ゴミなどを拾い集めたよ。</p> <p>清掃活動は、海の日を前に唐津市の離島・神集島をきれいにして訪れる人を増やそうと、島にある白浜海岸海水浴場で行われたよ。</p> <p>21日は、唐津市の湊小学校の5年生や市の職員などおよそ30人が海岸150メートルにわたって、プラスチックゴミや漂着したゴミなどを拾い集めたんだ。</p> <p>参加した小学生は「楽しかった。もっと海をきれいにしてお客さんがいっぱい来てくれればいいな」「一番きれいな海にするために、ゴミを捨てないという思いを持ってほしい」と話していたよ。</p> <p>この後、子供たちは、九州運輸局の職員らから港の役割や船の種類などの説明を受け、船で人や物を運ぶ「海運」について学んでいたよ。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	31
投稿日	2020年7月22日(水曜日)
記事タイトル	「あなたにとって海とは?」
記事本文	<p>本格的な夏真っ盛り! 今回は 佐賀の海で、みなさんにとって海とはどんなものなのか、聞いてきました。</p> <p>唐津市 西の浜海水浴場 「たのしいところ」「あそぶところ」「かいがら」「癒し」 伊万里市 多々良海岸 「人の生活を豊かにするもの」「母」 「大切なもの」「守りたいもの」</p> <p>みなさん海に対する様々な思いを持っていました。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	32
投稿日	2020年7月29日(水曜日)
記事タイトル	海洋ゴミ問題を考えよう「佐賀市 環境パネル展」
記事本文	<p>佐賀市の佐賀市役所。こちらの1階で、先日海のゴミ問題などを取り上げた環境パネル展が開かれました。</p> <p>会場では、海洋プラスチックゴミの問題を取り上げたパネルや佐賀市の東よか干潟に漂着したペットボトルなどのプラスチックごみが展示されていました。</p> <p>佐賀市 環境政策課 瀬戸真一郎主事「市民のみなさまに海洋プラスチックごみ問題を始めとした環境保全に関する関心を高めるきっかけになればと企画しました」</p> <p>確かに、環境のことを考えることって大切なことですよ。</p> <p>佐賀市 環境政策課 瀬戸真一郎主事「実際に佐賀市の職員が所有しているマイバッグを展示しています。マイバックを持つことで環境に関する関心を高めていただけたらと...」</p> <p>ひとりひとりが環境のことを意識するようになればきっと少しずつ街も海もキレイになっていきますよね。</p> <p>佐賀市 環境政策課 瀬戸真一郎主事「こうしたパネル展を通して海洋プラスチックごみ問題に興味・関心を持っていただいて、日頃のプラスチックとの賢い付き合い方を考えていただくきっかけになればと願っております」</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	33
投稿日	2020年8月4日(火曜日)
記事タイトル	カブトガニ産卵地 清掃活動
記事本文	<p>今回訪ねたのは、伊万里市の多々良海岸。 高校生たちが何かやっていますね。みんな、なにやっているの？ 高校生:「カブトガニがここに産卵に来るので、産卵しやすい環境を作るためにみんなでゴミ拾いしています」</p> <p>そう、ここ多々良海岸は日本でも有数の希少なカブトガニの産卵地として有名なところなんです。 そのカブトガニが産卵しやすい環境を作ろうと、毎年こうしてみんなで海岸をキレイにしているんです。 高校生:「大変だったけどキレイになって良かった」「たくさんキレイになったので産卵しに来てほしい」「人間がこういう環境を作ってしまったから、人間が戻っていかないと、と思います」</p> <p>伊万里高校 理化・生物部顧問 橋本孝教諭:「伊万里湾の宝であるカブトガニをみんなで守っているということで、自分たちのふるさとを大事に誇りに思ってくれたらいいかなと思っています」 毎年カブトガニがここに帰ってこられるのは、みんなの思いがあつてこそ、なんだね。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	34
投稿日	2020年8月5日(水曜日)
記事タイトル	さがっ子リレー放流
記事本文	<p>玄界灘の島々が目の前に広がる、唐津市の西の浜海水浴場。</p> <p>ここでは毎年、さがっ子リレー放流の一環として、地元の子どもたちがカサゴ地元でいうアラカブの稚魚放流を行っています。 今年も唐津幼稚園の子どもたち16人が参加して、約500匹のカサゴを放流しました。</p> <p>玄海水産振興センター副所長 増田裕二さん:「今回のイベントはお子さんたちに海と魚に親んでもらうというところとか、今なかなか魚がとれなくなってきているので、資源を維持するためには魚の子どもを放流することも必要だということも学んでもらいたい」</p> <p>参加した子どもたち:「大きくなあれ!」「大きくなってねって」「楽しかった大きくなってほしい」</p> <p>玄海水産振興センター副所長 増田裕二さん:「子どもたちへの普及啓発が目的となっています。これから放流した魚が大きくなってまた増えていくということも学んでもらいたい」</p> <p>子どもたちほんとに楽しそう! お魚さんがたくさん泳いでいる豊かな海がみんなが大きくなった時にも続いているといいね。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	35
投稿日	2020年8月11日(火曜日)
記事タイトル	鹿島市こどもラムサール観察隊
記事本文	<p>鹿島市にある肥前鹿島干潟。 ラムサール条約にも登録されている自然豊かな鹿島の誇りです。 その干潟のすぐそばにある干潟交流館で、今年も鹿島市こどもラムサール観察隊の開講式が開かれました。 鹿島市役所ラムサール条約推進室 細竹悠さん:「5年前から鹿島市内の各小学校の4年生～6年生を対象に干潟体験だったり様々な活動を通して仲よくなるう、鹿島の自然を知ろうということで始めました」 参加した小学生:「生き物を捕まえたりしたい」「冒険したいです自然の中を」 この日は干潟のことをもっと知ってもらおうとどろんこになって遊ぶことに。子どもたち、楽しそう！ 潟スキーもやってる！上手だね。 鹿島市役所ラムサール条約推進室 細竹悠さん:「昔より干潟に入る人が少なくなっていて干潟が死んでいるというか、酸素が少なかったりとかあるんですけど、入って踏みならしたりすることで酸素が干潟の中に入って生き返る」「こういう貴重な自然の中で教育ができたとか自然を通じて感じてもらうことがいろいろあるのかなと思います」</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	36
投稿日	2020年8月11日(火曜日)
記事タイトル	唐津の海をプロデュース「おいしく知ろう唐津の海」2日目参加者のみなさまへ
記事本文	<p>小学5.6年生を対象に唐津の海を学ぶイベントが開催！</p> <p>2日目は、教室でオリジナル魚ロックの開発、海についてのポスター制作を行う予定で、特別ゲストおほしんたろうさんも参加するよ♪</p> <p>【8月22日(土)2日目】</p> <ul style="list-style-type: none">●集合場所時間●持参品●スケジュール●新型コロナウイルスに関して <p>●お問い合わせ (株)エンターアイ おいしく知ろう唐津の海 係</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	37
投稿日	2020年8月12日(水曜日)
記事タイトル	大志小学校 海レジャー体験
記事本文	<p>唐津城を一望できる玄界灘のそばにあるヨットハーバー。 実はここ、学生にヨットの練習場を提供しようと、県が運営している施設なんです。</p> <p>小学生たちがいっぱいいますね。今日はなにをやるのかな？ 小学生:「ヨットを体験します」「シーカヤックが楽しみです」 大志小学校 田中久美子校長:「大志小学校は海のすぐそばにある学校でありますので、総合的な学習の一環としてすぐそばにある海とふれあう学習として入っています」</p> <p>授業の一環として海の乗り物に乗れるんだ。楽しそう！ こっちはシーカヤックかな？上手だね～！みんないい経験しているなあ。</p> <p>大志小学校 田中久美子校長:「自分たちの住んでいる地域の良さを肌で感じてもらいたいということが一つと、実はゴミが浮かんでいたり、砂浜にいろんなものが打ち上げられていたり、そういったことに気づいて自分たちに何かできないかな、海を守っていきたいなという気持ちを持たせて、実際に活動に移していけるような子どもたちにしていきたい」</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	38
投稿日	2020年8月18日(火曜日)
記事タイトル	浜崎海岸に新登場！新しいマリナクティビティとは？
記事本文	<p>唐津市の浜崎海岸。ここは沖のほうから強い風が吹くそうで、サーフィンやヨットといったマリンスポーツが盛んなんです。</p> <p>その浜崎海岸で最近、新しいアクティビティが人気なんだとか。どんなものなんですか？</p> <p>ウインド&カイトサーフィンホップス 吉末重夫さん:「フォイルといいまして、水面上を滑走するものが今度は宙に浮くようになったんですよ。ボードの下に羽根がついていて、水中で揚力を生みボードを浮かせる。気持ちいです」「フォイルを使ってボードが浮くことで抵抗が小さくなり、弱いパワーですごいスピードになる」「今までは風速10メートルの風じゃなきゃ上級者は興奮しなかったのが、5メートルの風でシューっと走るのでもそこが気持ちいところ」</p> <p>このフォイルの魅力を初心者にも広めようと、吉末さん独自にけん引装置を作ったのだとか。</p> <p>ウインド&カイトサーフィンホップス 吉末重夫さん:「今まで自分たちが40年もかかって培ったものを、いろんな道具を使って分かりやすく伝えている」「上級者じゃないとできないんじゃないかと、こういう動きが出来るとうすぐ出来ますよというのを伝えていますので、そこを喜んでいただくことがまた楽しいです」</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	39
投稿日	2020年8月19日(水曜日)
記事タイトル	海洋ごみ削減で多業種が連携！
記事本文	<p>日本財団 笹川陽平会長:「海をいかに健全に保つかということは、人類の生存にかかわる問題でございます」</p> <p>7月29日、東京の日本財団ビルで海洋プラスチックごみの削減を目的とした組織「アライアンス・フォー・ザ・ブルー」のキックオフイベントが行われました。これは、日用品や飲食品、リサイクルなど多業種の企業が連携することで新たな海洋ごみの発生防止、また資源循環型社会を実現するモデルづくりを目指す組織です。</p> <p>日本財団 海野光行常務理事:「海洋ごみ問題の解決には1社・1業種で対応するには無理があります。さまざまな企業が試行・検証・挑戦する機会をつくって取り組んでいくプラットフォームが必要だと考えています。今回のアライアンス・フォー・ザ・ブルーがそれを具現化するものと考えています」</p> <p>現在、参加企業は14社。100年後の子どもたちにも恵の多い海を残そうと、これから環境にやさしい商品づくりや仕組みづくりなどを手を取り合って考えていきます。</p> <p>日本財団 笹川陽平会長:「世界の海洋問題の1つの大きな切り口をこのアライアンスによって実現していただきたい」</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	40
投稿日	2020年8月19日(水曜日)
記事タイトル	【応募を締め切りました】親子で体験! さばける塾in佐賀
記事本文	<p>親子で体験! さばける塾in佐賀 親子でイカ料理にチャレンジ! 今年も「親子で体験さばける塾in佐賀」が開催されるよ。 魚を「さばく」、このさばける塾を通じて、みんなには貴重な海や自然の恩恵、 また海洋環境保全の大切さを体感してほしいな。 イカを包丁でさばいて炒め物や和え物に調理し、みんなでいただきます。</p> <p>開催日 令和2年9月13日(日) 時間 14時~17時(予定) 会場 西九州大学佐賀調理製菓専門学校 参加者 親子ペア10組(子どもは中学生以下の方) 持参品 エプロン、バンダナ 定員に達したため、応募を締め切りました。応募ありがとうございました! 【問い合わせ】 西九州大学 佐賀調理製菓専門学校 海と日本さばける塾in佐賀係 TEL 0952-22-2001(平日8:30~17:30) FAX 0952-22-2002</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	41
投稿日	2020年8月21日(金曜日)
記事タイトル	県絶滅危惧種「アゲマキ」も！高校生が干潟の生物調査
記事本文	<p>地元の自然環境を楽しみながら知ってもらおうと、20日佐賀農業高校の生徒たちが、有明海の干潟で泥にまみれながら生物調査を行ったよ。県の「絶滅危惧種」になっているアゲマキも見つかったんだ！！</p> <p>この生物調査は、佐賀農業高校で土木を担当する教諭らが生徒に地元の自然環境を楽しみながら知ってもらおうと初めて企画したよ。この日は、環境工学科の1・2年生、15人が参加。</p> <p>生徒たちは、潟スキーを使って干潟を移動しながら調査を進めたよ。調査は約3時間行われ、ゴカイやカニの他、県が絶滅の危機が増大しているとして「絶滅危惧2類種」に選定している二枚貝、アゲマキも見つかったんだって。</p> <p>2年生の貞松遼大さん:「自分たちの地元のことよく分かるし、潟の何か新しい発見があればいいと思う」</p> <p>江原高志教諭:「地元のこととかを知って、学習に生かしていこうということで、(調査)させていただきました。またこれから色々調べて、やっていきたいと思えます」</p> <p>アゲマキは記録用に撮影された後、元の場所に戻されたよ。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	42
投稿日	2020年8月22日(土曜日)
記事タイトル	小学生が”オリジナル魚ロッケ”作りに挑戦
記事本文	<p>魚のすり身をパン粉に付けて揚げた佐賀県の名物「魚ロッケ」作りに小学生が挑戦し、食を通じて海の大切さを学びました。</p> <p>このイベントは「海と日本PROJECT」の一環で開かれたもの。</p> <p>県内の小学5・6年生21人が参加し、唐津の海などでとれたイカやタイのすり身に玉ねぎなどの野菜を混ぜ、オリジナルの「魚ロッケ」を作ったよ。</p> <p>完成後、児童は揚げたてをほおばり、海の恵みを味わっていたよ。</p> <p>【男の子】「イカのコリコリの食感もマッチしてる」</p> <p>【女の子】「衣もカリカリで美味しかったイカなどは唐津の海の特産品なのでたくさん使ってアピールできた」</p> <p>子供たちが考えた魚ロッケは10月ごろに唐津市内などで販売される予定なんだ。</p> <p>みんなが考えた魚ロッケ、ぼくも食べてみたいな！</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	43
投稿日	2020年8月25日(火曜日)
記事タイトル	ムツゴロウになれる!?海遊ふれあいパーク「干潟体験場」
記事本文	<p>ユニークなムツゴロウのオブジェが目印！小城市芦刈海岸沿いにある海遊ふれあいパーク。</p> <p>オートキャンプ場や、広々とした公園もあってアウトドア好きに人気の施設です。なかでも注目なのがこちらの干潟体験場。</p> <p>利用可能期間:5月～10月頃(要予約) 料金:1人 285円(税別) 小城市商工観光課 小松尚太さん:「本体験場は、人間ムツゴロウになれる施設です。裸足になってムツゴロウや希少な生物を見ながら泥遊びができる施設です」</p> <p>なるほど～！無邪気に思いっきり泥んこになれば、気持ちは人間ムツゴロウってことですね！</p> <p>小城市商工観光課 小松尚太さん:「どうしても、泥まみれになりますので、温水シャワー施設も備えております」</p> <p>さて、干潟をのぞいてみましょう。 シオマネキですね。 オスは、左右どちらかのハサミが大きいのが特徴。 こちらはご存知ムツゴロウ。 よく観察すると、動きがとってもユニーク！ 干潟の希少な生き物を守るためにも、海を大切にしていきたいですね。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	44
投稿日	2020年8月26日(水曜日)
記事タイトル	おいしく知ろう！唐津の海
記事本文	<p>唐津市の串浦海岸。子どもたちが集まっていますね。 佐賀大学農学部 特任助教 藤井直紀さん:「この企画は海を知ってもらうということが重要で、海に実際出してもらってどんな魚がいるとか、漁師さんの生活を見ながら体験してもらって海を楽しんでもらう、知ってもらうための企画です」ということで早速、漁業体験からスタート。 参加した子ども:「楽しかった」「いろんな魚と出会えてよかったです」 その後、お昼はみんなでとった魚でバーベキュー。とれたてのお魚ってまた美味しいんだよね！ 参加した子ども:「食感がフワフワしていておいしいです」「コリコリしていて新鮮さがあるおいしいです」</p> <p>そして午後からは最近のイカの不漁問題や海洋ごみ問題など地元の海の現状を学びました。 佐賀大学農学部 特任助教 藤井直紀さん:「唐津の海は大きく変化してきています。ごみ、温暖化。こういうもので海がコロっと変わっています。海が変わるとなると我々の生活も変えなきゃいけないので、ではどういう風に変えていくかというのは、今後先の子どもの生活にかかっている。そこをどうするかっていうきっかけになってもらえればいいかなと思っています」</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	45
投稿日	2020年8月26日(水曜日)
記事タイトル	海と日本プロジェクト スポGOMI甲子園 佐賀県大会募集
記事本文	<p>全国25都道府県の高校生がごみ拾いを競い合う、「スポGOMI甲子園」今年も開催決定！</p> <p>3人1組のチームで、60分の制限時間内に、定められたエリアで力を合わせてゴミを拾い、その質と量をポイントで競い合う地球に最も優しいスポーツです。優勝チームは都道府県代表として東京で行われる全国大会へ招待！世界的にとっても深刻になっている「海洋ゴミ問題」の解決に高校生の力でアクションを起こそう！</p> <p>「海と日本プロジェクト スポGOMI甲子園」佐賀県大会 集合場所 唐津市 東の浜海浜公園 募集要項 高校生1チーム3人1組で申し込みください。 日時 2020年9月19日(土) 受付9:30 10:00～12:00 内容 3人1組のチームで、60分の制限時間内に、定められたエリアで力を合わせてごみを拾い、その質と量をポイントで競い合う、清掃ボランティア活動のイベントです。トンゴとゴミ袋を使用しての清掃活動です。 申し込み 高校名、チーム名、参加者全員の氏名、代表者連絡先をメールまたはFAXにてお申し込みください。 メール:umipro@enter-i.jp FAX:0952-24-5792 お問い合わせ 海と日本プロジェクトin佐賀運営事務局 (株)エンターアイ 電話0952-24-3222(平日10:00～17:30) ※新型コロナウイルスの感染状況次第では内容が変更となる可能性があります。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	46
投稿日	2020年8月31日(月曜日)
記事タイトル	東与賀海岸を700人が清掃 3トンのごみ回収
記事本文	<p>29日、佐賀市の東与賀海岸で清掃活動が行われ、およそ700人がごみ拾いに汗を流したよ。</p> <p>アクトクリーンSAGAは、この時期に有明海沿岸の佐賀・福岡・長崎・熊本の4県で海岸を清掃する「有明海クリーンアップ作戦」の一つとして、サガテレビが毎年行っているんだ。29日は、佐賀市の東与賀海岸で、家族連れや漁業関係者のほか、企業や地元の中学生などおよそ700人が、ごみを拾い集めたよ。午前8時から約1時間でヨシや流木などを中心に3トンのごみが回収されたんだ！</p> <p>有明海沿岸では、9月はじめにかけて、各県で清掃活動が行われる予定だよ。</p> <p>たくさんのひとが集まってゴミ拾い！少しでもキレイにしたいという気持ちが大切だね。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	47
投稿日	2020年9月2日(水曜日)
記事タイトル	小学生が〇〇〇〇作りに挑戦♪
記事本文	<p>西九州大学 佐賀調理製菓専門学校。今回ここで小学生たちが唐津市のある名物料理を作るんです。</p> <p>講師 土田和美 栄養:「(前回)子どもたちが唐津で漁業体験や海の問題などを勉強してきているので、それを踏まえて今日は魚ロッケ作りをやりたいと思います。唐津の地元の海で獲れた豊富な魚介類、特にイカを使って魚ロッケを作ります」</p> <p>さっそく、それぞれの班に分かれて、オリジナル魚ロッケ作りスタート。イカやタイ、カレーにチーズ、野菜などそれぞれお好みの具材を調理。それら全てを魚のすり身と混ぜ合わせて油で揚げたらもうできあがり！美味しそうにできたね。</p> <p>参加した子どもたち:「コーンとかめっちゃ入ってておいしい」「パプリカの風味がしてとてもおいしい」</p> <p>ちなみにこの日一番人気だった「チーズ入りハンバーグ風魚ロッケ」はふじ川蒲鉾本店・唐津うまかもん市場で実際に販売されるんだって。</p> <p>講師 土田和美 栄養:「イカは漁獲量が減ったりして今問題が言われたりしていますし、地元に応じた素材があるかやその良さを他所の方に伝えていける発想や刺激が子どもたちにあつたらいいなと思います」</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	48
投稿日	2020年9月9日(水曜日)
記事タイトル	海に感謝！佐賀の新鮮魚介ごはん
記事本文	<p>佐賀県の北には玄界灘、南には有明海。つまり、海の幸が豊富。そんな佐賀県のおいすぎるポテンシャルを活かしたオリジナルメニューがあるのがこちらのお店King Kitchen。</p> <p>どんなメニューを作られたんですか？ 江口 裕太さん:「佐賀の有名な食材のアレを使ったメニューを開発しました」 キッチンを見たと...ありました。佐賀県産魚介のアレといえばこれ！ヤリイカ。</p> <p>この食材を活かして出来上がったのが 江口 裕太さん:「佐賀県産のヤリイカの魚介ごはんです」 佐賀県産 ヤリイカの魚介ごはん 1,000円(税別)販売期間 2020年9月9日～9月30日</p> <p>江口 裕太さん:「ご飯も魚介のダシで炊いています」 なぜこちらのメニューを作ろうと思ったんですか？ 江口 裕太さん: 佐賀のイカといえば全国的にも有名食材なので、その食材を使ったメニューを作ることによって食べてもらって、海を大事にしないと美味しい魚介を食べられなくなるかもしれない、海の環境を考えるきっかけになればと思い作りました」 『海を味わうとは、恩恵に感謝すること』そんな思いが詰まった佐賀ならではの料理です。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	49
投稿日	2020年9月14日(月曜日)
記事タイトル	「わかる、つながる、海とエシカル」イベントのご案内(唐津)
記事本文	<p>海と日本PROJECT推進パートナー団体からイベントのお知らせです！ 「環境」をテーマに自然を満喫しながら、楽しいコンテンツを盛り込んだイベントを唐津で開催することなので、気になる方はぜひ参加申し込みをしてみましょう♪</p> <p>わかる、つながる、海とエシカル 開催日 2020年9月22日(火・祝) 場所 波戸岬キャンプ場(つどいの広場) 〒847-0401 佐賀県唐津市鎮西町名護屋7324 当日のスケジュール 申し込み方法 Peatix内でお申し込みを受け付けております。 お申し込みは、1家族につき1枚/1回まで。 先着50組さまに、肌にも環境にも優しいサンスクリーンをプレゼント(1グループ1本)！ 小雨決行、大雨中止。 詳しくは申込フォームよりご確認ください。</p> <p>主催 株式会社エシカラナ(Eco Robo Mate) HanaMarcheConnect</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	50
投稿日	2020年9月16日(水曜日)
記事タイトル	親子で思い出づくり！有明海 親子探検隊
記事本文	<p>佐賀県では、森・川・海での環境保全の取り組みと、水産資源を守ることの大切さを知ってもらうために、有明海親子探検隊を実施しています。</p> <p>参加した親子:「楽しそうで、夏休みの思い出づくりにもいいと思いました」 展示館で海に関する資料を見学したあとは船に乗って有明海の探検に出発！ 自動海況観測タワーは有明海の水温や塩分を計測する施設。 続いて、伝統漁法アンコウ網漁を見せてもらいました。大漁ですね。</p> <p>ワラスボのほかにも、エビ。お魚は持ち帰れます。 参加した親子:「すごいですね、こんなに魚がとれるとは思わなかったです」「楽しかった」「貴重な体験ができてありがたいと思います」</p> <p>親子の素敵な夏の思い出ができましたね。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	51
投稿日	2020年9月17日(木曜日)
記事タイトル	たのしい、うみぼす、はじまるよ。海のPRコンテスト「うみぼす2020」作品募集！
記事本文	<p>思わずみんなが笑顔になるようなたのしい表現で、大好きな海の宣伝になる作品をつくろう！</p> <p>うみぼすは、今年で6年目。海の観光を応援する全員参加型の地域創生プロジェクトです。</p> <p>新型コロナが収束したら、あなたの好きな海に多くの人に来てもらって活気を取り戻すため、ぜひ「たのしい広告」をつくってください。</p> <p>今年からは「インスタの部」「Zoom背景の部」も加わってますます参加しやすくなりました！あなたの作品をみんなに見てもらい、みんなで日本の海を盛り上げていきましょう♪</p> <p>アートや写真の腕を競うコンテストではなく、行ってみたい！来てほしい！という気持ちがあふれる作品のコンテストです。カッコイイやキレイだけでなく、ユーモアあふれる作品をお待ちしています。</p> <p>優秀作品には賞金も！各部門ごとに賞金や賞品が用意されています。</p> <p>学校や職場などでも取り組みます。もちろん個人参加もOK！ひとり何点でも応募可能です。</p> <p>さあ、あなたの作品で地元の海を応援しよう！</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	52
投稿日	2020年9月21日(月曜日)
記事タイトル	マリンスポーツを身近に楽しめる施設に「佐賀県ヨットハーバー」が海の駅に
記事本文	<p>唐津市にある「佐賀県ヨットハーバー」が、「海の駅」に認定され、21日認定式が開かれたよ。</p> <p>身近に海のレジャーを楽しめる施設になるんだ！</p> <p>「海の駅」は、国土交通省海事局が設置を推進していて、マリンレジャーの情報提供やトイレの設置、船舶の係留施設がある場所が登録の条件になっているんだ。</p> <p>県内で「海の駅」として認定されるのは、「いまり海の駅」に続いて2カ所目で、全国では171カ所目だよ。</p> <p>さが・からつ海の駅 駅長 吉井健さん:「ポート、ヨットで旅行する人が安全に立ち寄れる施設、県民の方が気軽にマリンアクティビティ、マリンスポーツを楽しめる、そのような施設運営を目指していきたいと考えております」</p> <p>「佐賀県ヨットハーバー」はこれまでセーリングなどのアスリートの育成に取り組んでいて、今回「海の駅」の認定を受けたことで、一般の人がヨットやポートなどをより気軽に利用できる観光地の一つとしても期待されているよ！</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	53
投稿日	2020年9月23日(水曜日)
記事タイトル	キレイな海を未来へ！アクトクリーンSAGA
記事本文	<p>佐賀市の東与賀海岸。この豊かな自然を未来に残そうと、家族連れや漁業関係者のほか、地元の企業や中学生およそ700人が集まり、清掃活動「アクトクリーンSAGA」が行われました。</p> <p>Q参加した理由は？「ゴミ拾いをすれば生き物が楽に暮らせるようになるから」「生き物たちがゴミを誤飲しないようになるから、海の保全ができますと思います」有明海にしか生息しない生き物もたくさんいます。希少な生き物たちの環境を守ることも大切なことですよね。</p> <p>この日は、海と日本プロジェクトのブースが設けられ、参加者に有明海に住む海の生き物が描かれた缶バッジが配られました。また、サガテレビと佐賀県のコラボで作られたトートバッグもプレゼントされました。</p> <p>たくさんのゴミが回収できましたね。どんなゴミが多かった？</p> <p>参加者：「ペットボトルと缶が意外に多い」「自分もゴミを捨てないようにしなきゃと思いました」「自分たちの力だけだと微々たるものですが、みんなでやればあっという間にキレイになった」</p> <p>この日集められたゴミはおおよそ3トン。これからも豊かな地元の海の環境をみんなで守っていききたいものですね。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	54
投稿日	2020年9月25日(金曜日)
記事タイトル	山と海の環境保全へ 県と漁協が「森川海人」協定締結式
記事本文	<p>宝の海を守るため、その水源である山の環境保全にも力を入れようと県有明海漁協と県が協定を結んだよ。</p> <p>県は、佐賀の豊かな森、川、海を多くの人に知ってもらい次世代に守り繋げようと、2017年度から「森川海人プロジェクト」と題し海岸清掃などに取り組んでいるんだ。</p> <p>25日は、海の源である山の環境を守るため山づくりに取り組もうと、佐賀県と県有明海漁協が協定を結んだよ。</p> <p>県有明海漁協・西久保敏組合長:「森川海は1つであって、しっかりと管理していく必要があると実感しております」</p> <p>県有明海漁協は、有明海に注ぐ嘉瀬川の上流に位置する佐賀市富士町の2.7ヘクタールの山に組合員やその家族で広葉樹を植え、草刈り作業などをしながら14年かけて森を育て、山づくりに取り組むんだって。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	55
投稿日	2020年9月29日(火曜日)
記事タイトル	漁業者悩ませる赤潮ノリの色落ちをもたらす天敵を調査
記事本文	<p>佐賀県が日本一を誇る有明海のノリ養殖で、漁業者を悩ませる赤潮。ノリの色が黒くならない「色落ち」をもたらすこの天敵の本格的な調査研究が始まりました。</p> <p>リポート:「午前7時過ぎの戸ヶ里漁港です。これから調査団が赤潮対策につながる観測機器の設置に向かいます」</p> <p>赤潮とは増殖した植物プランクトンの中で佐賀県沖の有明海では、西南部で多く発生が確認。有明海のノリ養殖においては、ノリの色が黒くならないいわゆる「色落ち」の原因となっているんだ。これを受け、県有明水産振興センターは、九州大学、佐賀大学、県有明海漁協と協力し、赤潮の発生や拡散のメカニズムを解明していくことになったよ。</p> <p>観測機器は白石沖と鹿島沖の2カ所に設置、潮の流れの向きや速さに加え、植物プランクトンがどれくらいいるのかなど約10項目をデータ化。赤潮対策につながる集中的かつ連続的なデータが集まる機器の設置は今回が初めてで、2021年の5月ごろまで、2カ月に1度データを回収し解析していくんだって。</p> <p>九州大学総合理工学研究院山口創一助教:「今まで明らかになっていない赤潮の初期段階から発達期、減退期の過程が一連で捉えられるようなデータになれば(色落ちの)有効な対策につながる」と期待している」</p> <p>今後は、赤潮の発生予報や拡散経路などの予測を漁業者に知らせ、早めの対応をすることで色落ち被害の軽減につなげていきたいとしているよ。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	56
投稿日	2020年9月29日(火曜日)
記事タイトル	中学生が海辺の漂着物を調査 重量は例年の3割ほどに
記事本文	<p>唐津市の海水浴場で中学生らが漂着物の調査を行ったよ。今年確認された漂着物の重量は、例年の3割だったんだって。</p> <p>この調査は海の環境保全対策や環境美化の意識を高めてもらおうと、唐津市の海水浴場で毎年行われているんだ。 29日は北浜海水浴場で近くの湊中学校の1年生25人が参加したんだ。生徒たちは、決められた10メートル四方の3つの区画に打ち寄せられた漂着物を、プラスチックやペットボトルなど8種類に分別し回収したよ。</p> <p>参加者:「プラスチックとか人工物が多かったの、自分たち一人一人が気を付けてゴミを少しでも減らしていきたい」</p> <p>回収された漂着物は大半が国内や海外で製造されたプラスチック類で、重さは、2019年の3割ほどの約13キロ。 調査の結果は、今後の海洋環境保全対策の基礎資料にされるんだって。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	57
投稿日	2020年9月30日(水曜日)
記事タイトル	佐賀の干潟博士
記事本文	<p>佐賀県鹿島市にひろがる有明海。干潮時にはムツゴロウに針をかけて捕る伝統漁法、むつかけの様子も見られます。</p> <p>そんな中、小型カメラを設置したり生き物を観察しているこの方が、干潟博士こと藤井先生は、有明海の環境や生き物の研究をはじめて9年目。</p> <p>佐賀の干潟博士 佐賀大学農学部 藤井直紀特任教授:「“貧酸素”になると泥の状況が悪くなるので“貧酸素”の有無の調査です。海水や泥の酸素が少ない“貧酸素”の場合、生き物が住みづらくなります」 干潟の泥を採取して専用の機器で酸素の量を測定します。</p> <p>佐賀の干潟博士 佐賀大学農学部 藤井直紀特任教授:「このmVがマイナスになると生き物にとっては苦しい。mVがプラスなので生き物にとっては住みやすい泥だということになります」</p> <p>—安心ですね。ところで、私たちにできる貧酸素対策はあるんですか？ 佐賀の干潟博士 佐賀大学農学部 藤井直紀特任教授:「おそらく昔の方はすごく干潟に入っていたと思う。遊びや釣りなど。干潟で遊ぶことは有明海の環境を良くするポイントかもしれません」</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	58
投稿日	2020年10月6日(火曜日)
記事タイトル	全国29県から海産物約80点 全国海の贈り物フェア
記事本文	<p>海の現状を伝え次世代に引き継ぐ「海と日本PROJECT」の一環として、都内の特設会場に全国の海産物を集めたイベントがこのほど開かれました。</p> <p>このイベントは、日本財団が全国で展開している「海と日本PROJECT」の一環として開かれたもので、今年で3年目です。都内の百貨店の特設会場に、全国29の県から選りすぐりの海産物約80点が並びました。</p> <p>このうち、佐賀県からはいずれも有明海産の生ノリの佃煮と赤貝の缶詰が出品され、人気を集めていました。イベントの運営事務局によりますと、2日間で約5千人が訪れ、佐賀の赤貝の缶詰は完売したということです。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	59
投稿日	2020年10月13日(火曜日)
記事タイトル	大切な海を守るためにゴミゼロウィーク清掃
記事本文	<p>海で見られるゴミ。残念な光景ですが、これらの8割は陸から来ています。つまり、私たちの生活ゴミが移動して海を汚しているのです。</p> <p>その対策として海と日本プロジェクトでは、全国一斉清掃キャンペーン、秋の海ゴミゼロウィークを実施。</p> <p>佐賀県では、第一生命佐賀支社の皆さんが佐賀市内の佐賀城公園周辺で清掃活動を行いました。</p> <p>第一生命保険(株)佐賀支社長 宮崎典之さん:「海のゴミの80%は陸から来ているんだという話を聞きまして、これを機会にみんなで大好きな佐賀の町をきれいにしよう! みんな頑張ろう!」と思い今回参加しました」</p> <p>どんなゴミが多いですか?</p> <p>第一生命労働組合 佐賀営業職支部執行委員長 安東翔太さん:「ペットボトル・缶など人間が出している生活ゴミが多いなと印象を受けました。ゴミを捨てない、気づいたら拾うということが大切なんだと改めて実感しました」</p> <p>みなさんのご協力でたくさんのゴミを回収することができました!</p> <p>私たちの生活と海は繋がっています。“町にゴミを捨てない”みんなの心がけが大切です。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	60
投稿日	2020年10月14日(水曜日)
記事タイトル	地球に優しいスポーツ「スポGOMI甲子園」
記事本文	<p>唐津市、東の浜海浜公園に集まった高校生たちの手にはトンクとゴミ袋。この日開催されたのは、スポGOMI甲子園 佐賀県大会。</p> <p>3人1組のチームで、60分間ゴミを拾いその質と量をポイントで競い合う、地球に優しいスポーツなんです。</p> <p>参加した高校生:「ビニール系のゴミが多いです。意外と汚いなって思います」</p> <p>参加した高校生:「学校でつくりました。ゴミ袋の色ごとに分かれてしっかりと分別できるようになっています」</p> <p>60分間の清掃が完了。みんなお疲れ様でした。</p> <p>さあ、優勝したのは…?「唐津南高校イケメン3人組チームです」</p> <p>唐津南高校イケメン3人組チーム:「たくさんゴミを拾って、全国で優勝したいと思います」「みんなの分も全国でゴミを拾って1位になりたいと思います」「自分たち高校生が少しでもゴミを拾って、環境問題を改善できたらいいと思います」</p> <p>世界的に深刻になっている海洋ゴミ問題の解決に高校生がアクションを起こします!</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	61
投稿日	2020年10月18日(日曜日)
記事タイトル	18年連続日本一目指しノリの種付け始まる
記事本文	<p>佐賀県沖の有明海で18日養殖ノリの種付けが解禁となり、本格的なノリのシーズンが始まったよ。</p> <p>レポート:「18年連続の日本一に向けてきょうから種付けが始まり、生産者が手際よく作業を行っています」 ノリの種付けは18日に解禁され、午前6時頃にはノリの網を積んだ約760隻の船が、沖合に向けて出発したよ。 佐賀市東与賀町の岸から約5キロの海上では、カキ殻を吊るした網を漁業者が海に張り込んでいたよ。 今年は、7月の大雨の影響で土砂が川に堆積していましたが、国や市などにより除去され、例年通りの種付けとなったよ。 県有明海漁協・西久保敏組合長:「今年はこのまま行けば素晴らしい口どけの柔らかいノリが取れると思います。引き続き日本一を守っていきたいと思っています」 今シーズンは、販売枚数17億6千万枚、販売額235億円を目標に18年連続の日本一を目指しているんだ！</p> <p>今年もこの季節がやってきたね！18年連続日本一めざしてがんばれー！！</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	62
投稿日	2020年10月20日(火曜日)
記事タイトル	海のゴミで〇〇〇を作ろう!
記事本文	<p>唐津市の波戸岬海岸で行われたゴミ拾い。市内に住む家族を中心に多くの方が参加しました。</p> <p>どんなゴミがありますか?「ペットボトル」「発泡スチロール、ロープとかも」EcoRoboMate 笹山舜月さん:「やってもやっても増えるので、みんなにポイ捨てを辞めてもらわないと」</p> <p>ふたりが所属するEcoRoboMateでは、海のゴミを減らす取り組みをしているのですが...</p> <p>EcoRoboMate 笹山舜月さん・田中希歩さん:「私たちは海のゴミを使って〇〇〇をつくっています」</p> <p>〇〇〇って、なに?</p> <p>EcoRoboMate 笹山舜月さん・田中希歩さん:「答えはくじらです」</p> <p>くじらですか! いろんなものが張り付けられてありますがすべて海で拾ったゴミなのだそうです。</p> <p>EcoRoboMate 田中希歩さん:「くじらの胃の中にプラスチックが入って打ち上げられているニュースを見て、かわいそうだなって思ってくじらをつくる事でそのニュースをもっと広めて、環境問題に取り組んでくれる人をもっと増やそうと思ったからです。」</p> <p>目の部分を取り付けて、くじらさんの完成です。海と海の生き物への優しい思い、届くといいですね。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	63
投稿日	2020年10月21日(水曜日)
記事タイトル	海岸沿いを歩いて健康に！肥前鹿島干潟ウォーキングコース
記事本文	<p>2015年、ラムサール条約湿地に登録された、自然豊かな肥前鹿島干潟。この干潟の周辺で健康に関する取り組みが行われているんです</p> <p>鹿島市役所ラムサール条約推進室 細竹悠さん:「ジョギング・ウォーキング・サイクリングを快適にさせていただくための道路に整備しています。ひとつはラムサール条約の登録地に来ていただくことと、この素敵な景色を見ながら健康に運動をしていただきたいということを踏まえて整備しています。」</p> <p>肥前鹿島干潟の海岸道路を片道5キロのウォーキングコースに整備したんです。いま何キロってという表示もあってこれは楽しくウォーキングできそう！歩いている、いかがですか？</p> <p>女性「景色いいですね。今ちょうど稲刈りもしているし、うまい具合に(潮が)引いているので光っていて綺麗ですね」「空気がすごく気持ちいいです。海の風も吹いているし」</p> <p>さあさあ、ウォーキング終了。みなさんお疲れ様でした。</p> <p>男性「久しぶりにいい汗かきました。平坦地でペース走にはベストなコースですね」</p> <p>鹿島市役所ラムサール条約推進室 細竹悠さん:「運動不足解消されたかなと思います。肥前鹿島干潟はラムサール条約登録地になっていますので、こちらの方に来ていただいて素敵な景色を見て運動していただけたらなと思います。」</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	64
投稿日	2020年10月25日(日曜日)
記事タイトル	見て！描いて！佐賀さいこうフェスに海プロブース登場！
記事本文	<p>10月24・25日に開催された「佐賀さいこうフェス」。</p> <p>今年も「海と日本PROJECT」のブースが開設されたよ！</p> <p>昨年大好評だった有明海の生き物を学べる体験コーナーは、</p> <p>コロナウイルス感染症対策のため生き物へのタッチを行わず、見て楽しむ形に変更したんだって！</p> <p>でも、「佐賀の干潟博士」こと、佐賀大学農学部特任助教の藤井先生による生き物解説は今年も実施して大好評</p> <p>参加した人たちは、先生の解説をききながら、有明海に生息する個性豊かな生き物を観察していたよー！</p> <p>その学びを活かしてもらうために、今回はオリジナル缶バッジづくりを実施したよ。</p> <p>有明海に生息する生き物が描かれた絵に、色鉛筆やクレヨンなどで思い思いの色を塗ってもらい、完成した絵をその場で缶バッジにしてプレゼントしたんだって。いいなー！</p> <p>観察をしたうえで、生き物の色を完全に再現しようとした人、</p> <p>佐賀さいこうフェスのアート作品に刺激を受けて芸術を爆発させた人など</p> <p>十人十色のオリジナル缶バッジがここから生まれたよ。</p> <p>...</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	65
投稿日	2020年10月26日(月曜日)
記事タイトル	小学生考案の魚ロッケを販売
記事本文	<p>先日、おいしく知ろう唐津の海というイベントの一環で、小学生が唐津のお魚をつかった魚ロッケ作りに挑戦しました。</p> <p>そこで一番人気だったのがチーズを使った魚ロッケ。</p> <p>この魚ロッケが唐津市の蒲鉾店で期間限定で販売されました。</p> <p>藤川蒲鉾代表 藤川修平さん:「私も審査に参加させてもらったんですけど、その中で一番票が集まった魚ロッケです。審査員が一番これが美味しいんじゃないかなっていう魚ロッケをこちらでアレンジしなおして、チーズが溶け出ないように工夫をして販売しました」</p> <p>ちなみに包装紙も小学生が書いた海の絵。かわいいですね。</p> <p>藤川蒲鉾代表 藤川修平さん:「みなさんとても美味しいと。これが小学生が考えた品物かものすごく良い評判を頂いております。魚ロッケは唐津の名物としてみなさんに親しまれております。魚ロッケを通して少しでも海のことに関心を持ってもらって海のこと自体をいろいろ学んでいただけたらと思います。」</p> <p>販売は終了しましたが、子どもたちが地元のお魚に触れる良い機会となりました。</p>



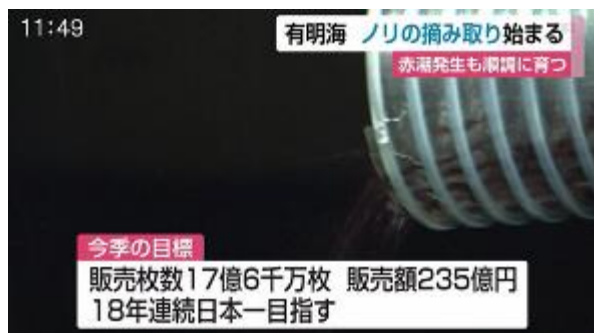
2-(2) 投稿記事詳細

No.	66
投稿日	2020年10月28日(水曜日)
記事タイトル	マリンスポーツをもっと身近に
記事本文	<p>唐津市ニタ子にある佐賀県ヨットハーバー。ここが先日伊万里海の駅に続いて県内2カ所目となる海の駅「さが・からつ海の駅」に認定されました。</p> <p>海の駅になって何か変わったんでしょうか</p> <p>佐賀県ヨットハーバー 久保田 卓也さん:「クルーザーやヨットで旅行を楽しんでいるお客様が、気軽に利用して楽しんでいただくことができる施設となっています。もう一つは近くに住むみなさまにマリンスポーツを気軽に楽しんでもらえるようなイベントを企画したいと思っています」</p> <p>つまり一般の人がもっと身近に海のスポーツを楽しめるようになったんですね。ちなみにどんなことができるんですか？</p> <p>佐賀県ヨットハーバー 久保田 卓也さん:「親子で体験できるカヤック教室(予約制)、ディンギーヨット体験(予約制)クルーザー乗船体験(予約制)そういうイベントがあるときに事前に告知して申し込んでいただくようにしております」</p> <p>いろんな海のスポーツができるんですね。たしかにあんまりヨットとかに乗る機会なんてないですから、気軽に体験できるっていうのは嬉しいですね。</p> <p>佐賀県ヨットハーバー 久保田 卓也さん:「もっと地元にある環境を生かしてマリンスポーツを楽しんでいただいたり、クルージングとかを体験したりして唐津っていいところなんだっていうのを実感していただきたいと思っています」</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	67
投稿日	2020年11月19日(木曜日)
記事タイトル	赤潮発生も順調に育つ 秋芽ノリの初摘み
記事本文	<p>佐賀県沖の有明海で、10月種付けされた今シーズンのノリの摘み取りが始まったよ！ 18日夜、佐賀市川副町の戸ヶ里漁港から約5キロの沖合で先月種付けされた秋芽網ノリが摘み取られたんだ。</p> <p>10月下旬に有明海で赤潮が発生したことから栄養塩が減り生育が例年より一時遅れたものの、その後は順調に回復し、例年通りのタイミングでの初摘みとなりました。質の良いノリができていますんだって！ ノリ漁業者 正林潤也さん:「水温が低い状況で推移してきたので柔らかくてくちどけの良いノリができていますのでは」</p> <p>今シーズンは販売枚数17億6千万枚、販売額235億円を目標に18年連続日本一を目指していて摘み取られたノリは、来月1日の初入札に出品されるよ。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	68
投稿日	2020年11月26日(木曜日)
記事タイトル	小学生がワカメ養殖を体験 養殖の大変さ学ぶ
記事本文	<p>子供たちに海への理解を深めてもらおうと、ワカメの養殖を体験する授業が唐津市の小学校で開かれたよ。</p> <p>この体験は、海環境について学ぶ唐津市の佐志小学校の総合学習の一環として行われたもので、5年生約40人が参加。児童ははじめに、佐賀県玄海水産振興センターの職員からワカメの育て方や栽培スケジュールなどを教わったよ。</p> <p>そのあと、学校近くの漁港に移動。2センチほどに育ったワカメがついた糸を長さ約25メートルのロープに丁寧に巻き付けていたよ。</p> <p>また、児童は、“乾燥しないように素早く”など漁業者から教わり、養殖の大変さを学んでいたよ。</p> <p>5年生男子:「見た感じは簡単そうだったけどやってみるとちょっと難しかった」 5年生女子:「あまり慣れていないので難しかった。巻きつけたワカメが大きくなるのが楽しみ」</p> <p>ワカメは、2021年2月中旬から収穫される予定なんだって。</p>



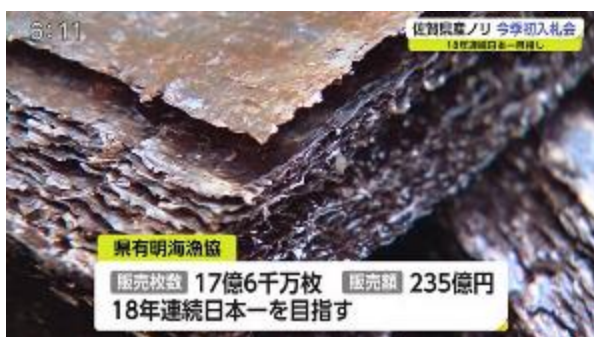
2-(2) 投稿記事詳細

No.	69
投稿日	2020年11月26日(木曜日)
記事タイトル	【うみぼす】嬉野小学校1年生が全国グランプリ 有明海のノリをイメージ
記事本文	<p>海を題材にしたポスターコンテストで、嬉野小学校の1年生がポストカード部門で、全国のグランプリに輝いたよ！</p> <p>このコンテストは、地元の海の観光を応援しようと、海を守る事業などに取り組んでいる海洋連盟が、海と日本プロジェクトの一環として、2015年から開いているんだ。</p> <p>コンテストでは、海を題材にした写真やイラストなどが募集され、今年はポスター部門とポストカード部門に全国から合わせて、4401件の応募があったんだって。</p> <p>このうちポストカード・子どもの部では、嬉野小学校1年の廣川涼優くんがグランプリを受賞したよ。有明海のノリをイメージした作品。</p> <p>嬉野小学校1年廣川涼優くん:「まさか選ばれるとは思わなかったです。ありがとうございます」</p> <p>母親:「佐賀の有明海と言えれば何かなというのを出したなかで一番ノリが好きなので。」</p> <p>廣川くんの作品は、自治体や企業などが無料で使うことができるイラスト素材として提供されるんだって。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	70
投稿日	2020年12月1日(火曜日)
記事タイトル	佐賀県産秋芽網ノリ今シーズン最初の入札会 約1億6840万枚が出品
記事本文	<p>有明海で養殖される、佐賀県産ノリの今シーズン最初の入札会が開かれ、1億6900万枚あまりが出品されたよ。</p> <p>今シーズン最初の入札会には、佐賀県産の秋芽網ノリ、約1億6840万枚が出品。全国から訪れた51の買い付け商社は、密を避けるため、11月30日と12月1日の2日間に分け、ノリの食感や色などを確かめたよ。</p> <p>今シーズンは雨が少なかったことなどから栄養塩が減り、味はやや薄い傾向だということで、最高品質のブランドノリ「有明海一番」に該当するノリはなかったんだって。</p> <p>県有明海漁協古賀勝則参事:「極上品はあまりなかったが、美味しいノリはたくさんとれていますたくさん食べて頂きたい」</p> <p>県有明海漁協は、今シーズンの販売枚数17億6千万枚、販売額235億円を目標に18年連続日本一を目指しているよ。</p> <p>毎年美味しいノリが食べれて嬉しいな！佐賀のノリだいすき！</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	71
投稿日	2020年12月13日(日曜日)
記事タイトル	川で身動き取れないスナメリを救助 海に戻る
記事本文	<p>12日、佐賀市の川で身動きが取れなくなっていた1頭のスナメリが発見され救助されたよ。</p> <p>12日午前、佐賀市八戸2丁目付近を流れる川で発見されたのは体長1.5メートルほどのスナメリ。 近くの菓子店の男性と、情報を聞いて駆けつけた男性の新聞記者の2人が正午ごろから冷たい川の中へ入り、救助を始めたんだ。 救助した男性らによるとちょうど干潮に近い時間で川が浅くなりスナメリは泥の上に乗っかえ弱っていたんだって。 約2時間後に男性らによって小型の船に入れられクレーンを使って船ごと吊り上げられ保護されたよ。 このあと、スナメリは佐賀市川副町の戸ヶ里漁港に運ばれ海に戻されたんだって！ スナメリさん元気だね～！</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	72
投稿日	2020年12月21日(月曜日)
記事タイトル	有明海沿岸道路の工事現場で地元の小学生がお絵かき体験
記事本文	<p>白石町方面へ延伸されている有明海沿岸道路の工事現場で地元の小学生が絵を描きました。</p> <p>このお絵かき体験は、公共工事を身近に感じ子供たちに建設業への興味を持ってもらおうと行われたもので、白石町の福富小学校の3年生約50人が参加しました。有明海沿岸道路では現在、小城市の芦刈南インターチェンジから白石町方面に延伸する工事が行われています。児童たちはこの現場に入り、工事の橋にそれぞれ思い思いに絵を描いていました。</p> <p>女の子:「意外に上手に描けたのでびっくりしました」 男の子:「工事の人を描きました。めっちゃ楽しかったです」</p> <p>児童が描いた絵は今後アスファルトがかぶせられ見えなくなるということですが、県の担当者は「子供たちの思い詰まった道路になれば」としています。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	73
投稿日	2020年12月22日(火曜日)
記事タイトル	有明海で激減のタイラギ 佐賀県の「人工稚貝」初移植
記事本文	<p>近年、激減し休漁が続いている有明海の冬の味覚「タイラギ」を増やそうと、佐賀県が人工的に生産した幼い貝、稚貝の移植が初めて行われたよ。</p> <p>有明海の冬の味覚、二枚貝のタイラギ。近年は個体数が激減し、9シーズン連続で休漁となっているんだ。県はその生息状況を改善させようと人工的に稚貝を生産する取り組みを始め、今年3年目にして初めて移植にこぎつけたよ。22日朝、太良町の港から540個の稚貝を乗せた船が出港し、沖合に放流されたよ。</p> <p>これまでは移植できる5センチ以上に成長させることができず、国の研究機関から提供を受けた稚貝を移植するなどしていたんだって。</p> <p>県有明海水産振興センター・佃政則係長:「これまで国の方に技術を頼っていたところもありますので、今回その佐賀県で生産したものが最後移植までいけたということは今後、移植の量を増やすことで親貝の量も最終的に増やしていくことができるということが考えられます」</p> <p>人工稚貝の移植は今年、干潟の2カ所でもすでに行われているほか、来年も順次、成長したのから放流される予定なんだって。</p> <p>また、国からの提供も引き続き受けているということで、今シーズンはあわせて2万個ほどが移植される見込みだよ。県は移植後、成長具合や産卵の有無などを追跡調査し、効果を見極めることにしているよ。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	74
投稿日	2020年12月24日(木曜日)
記事タイトル	贈答用のクルマエビ 出荷本格化
記事本文	<p>年末贈答用の養殖のクルマエビの出荷が唐津市で本格化しているよ。</p> <p>唐津市浜玉町の浜崎クルマエビセンターでは毎年、盆と年末の年2回、贈答用としてクルマエビを出荷しているんだ。今年は飼育池で約80万匹が養殖され24日朝は従業員たちが15センチから20センチに育ったクルマエビを手際よく箱詰めしていたよ</p> <p>今年は夏の水温が適温となり高水温による影響がなかったことなどから去年よりも一回り大きく甘みがあり活きのいいクルマエビになっているんだって！</p> <p>購入した人:「人にあげようかと思って。おいしい、甘みがあって」 浜崎クルマエビセンター福森春介場長:「去年に比べてエビの大きさも若干大きくなっていてハリもあってすごく良い出来になりましたのでぜひご賞味ください」</p> <p>小売価格は300グラム3000円で、年末贈答用の出荷量は約6トンを見込んでいて主に東京や大阪に出荷されるそう。売上は4千万から5千万円ほどを見込んでいるんだって。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	75
投稿日	2021年1月13日(水曜日)
記事タイトル	技術向上へ 唐津海上保安部 初の年頭訓練
記事本文	<p>船での消火活動や、海に転落した人などの救助に備え、唐津海上保安部による年頭の訓練が12日行われたよ。</p> <p>これは、船での消火活動や海難救助などの技術を高めようといわれたもので唐津海上保安部が年頭に訓練をしたのは初めてなんだ。</p> <p>12日は巡視艇「やえぐも」や「まつかぜ」の乗組員のほか、密輸の取り締まりや海難救助にあたる職員など合わせて約20人が参加。</p> <p>訓練は、乗組員が乗る船で火事がおきた想定で、放水銃を使った消火の手順やモーターボートでの救助のやり方を確認したよ。</p> <p>唐津海上保安部 林亮治部長:「実際に火災が発生した場合にも適切に対応ができるものという風に思っております。密輸、密航、密漁という海の三密は絶対に許さないと。(今年も)強い姿勢で摘発に取り組んで参ります」</p> <p>唐津海上保安部によると、去年管内で海難事故に遭った船は前の年より7隻少ない19隻だったんだって。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	76
投稿日	2021年1月20日(水曜日)
記事タイトル	日本財団が福祉施設勤務者向けのPCR検査センター設置
記事本文	<p>日本財団は、2月から東京都内の高齢者福祉施設に勤務する人などを対象としたPCR検査センターを設置することを決めたよ。</p> <p>PCR検査センターは、高齢者福祉施設でクラスターの発生が全国的に増えていることなどから日本財団が設置するんだ。</p> <p>検査の対象となるのは、都内の高齢者福祉施設や療養型病院などで勤務する人で、費用は無料。センターは、東京都のお台場にある「日本財団災害危機サポートセンター」の敷地内に設置されるんだって。</p> <p>運用開始は2月8日の予定で、7月までに200億円の費用を見込んでいます。1日の検査件数は、2月が3000件、4月以降は1万4000件を目指すそう。</p> <p>日本財団は「今回のケースをモデルとして、将来的には地方への拡大を検討している」としているよ。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	77
投稿日	2021年1月21日(木曜日)
記事タイトル	【応募終了】アニメ「サンタカンパニー真夏のメリークリスマス」上映会
記事本文	<p>アニメ「サンタカンパニー真夏のメリークリスマス」上映会の応募は1月27日をもって終了いたしました。応募くださった皆様、誠にありがとうございます！ なお、募集定員を超えましたので来場者の抽選を行います。 当選された方だけに、運営事務局から当日の案内メールをお送りします。 1月28日(木)中にお送りしますので、ご確認をよろしくお願いいたします。 ご不明点ございましたら、下記までお問い合わせください。</p> <p>(問い合わせ先) 海と日本プロジェクト佐賀県事務局(株式会社エンターアイ内) TEL: 0952-24-3222 ※お問合せ受付時間: 月～金曜日 10:00～17:00</p> <p>日本財団「海と日本プロジェクト」Change for the blueの一環として海洋ごみの問題を伝えるアニメが完成しました。 2019年に全国公開された映画「サンタ・カンパニー」の新作が海洋ごみ問題をテーマにして登場します。 アニメを楽しみながら海のかかえる問題を学ぶことができる、まさに一石二鳥の作品です。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	78
投稿日	2021年1月22日(金曜日)
記事タイトル	18年連続日本一へ！有明海で”主力”冷凍網ノリ収穫
記事本文	<p>佐賀県沖の有明海で、養殖ノリの主力である冷凍網ノリの本格的な摘み取りが始まり、18年連続の日本一を目指して、漁業者が作業に追われているよ。</p> <p>1月9日に張り込みが解禁となった冷凍網ノリは、20日夜から本格的に摘み取り作業が始まったよ。</p> <p>県有明海漁協によると、生育は順調なもの雨が少ない、一部の地域で赤潮が発生するなど栄養塩が低い時期もあり、ここ数日予想されている雨でよりおいしいノリが取れることを期待しているんだって。</p> <p>漁業者:「海の栄養をたっぷり吸い込んで、黒くて甘みがあるおいしいノリができています。」</p> <p>今シーズンは、販売枚数17億6千万枚、販売額235億円を目標に18年連続の日本一を目指しているんだ。</p> <p>冷凍網ノリの初入札は、1月28日に予定されているよ。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	79
投稿日	2021年1月27日(水曜日)
記事タイトル	佐賀市にマナヅル9羽飛来
記事本文	<p>佐賀市の男性が撮影した珍しい鳥の写真。 こちらの写真は佐賀市の佐賀空港横の干拓で今月24日の朝、撮影されたマナヅルの写真だよ。</p> <p>撮影した写真愛好家の柳木繁弘さんは、今月23日に写真仲間からマナヅルの飛来情報を聞き、翌日の朝すぐに撮影に向かったんだって。柳木さんによるとマナヅルがこの場所にいたのは3日間。 柳木さんは5年ほど空港近くで撮影をされていて「この場所でマナヅルを見たのは初めて。9羽いたことも珍しい」と驚いていたよ。</p> <p>日本野鳥の会佐賀県支部によると越冬のためにいくつかの家族で休息しているんだとか。 9羽は近年ではあまりみられないんだって！また佐賀に遊びに来てね♪</p>



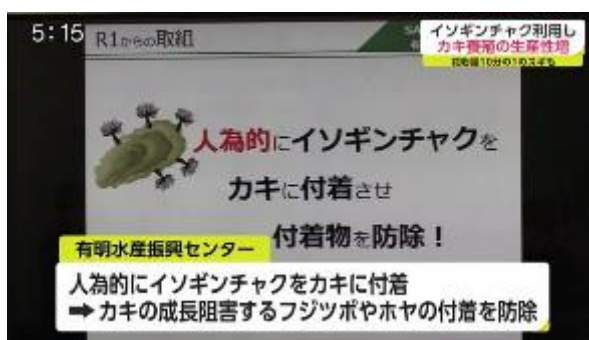
2-(2) 投稿記事詳細

No.	80
投稿日	2021年2月3日(水曜日)
記事タイトル	地球に優しいスポーツスポGOMI甲子園 決勝大会
記事本文	<p>去年11月22日、東京の墨田区に大勢の高校生が集まりました。</p> <p>この日開催されたのはごみ拾い高校生日本一を競うスポGOMI甲子園の決勝大会。 スポGOMI甲子園とは3人1組のチームで60分間ごみを拾い、その拾ったごみの種類と量でポイントを競い合う、地球に最も優しいスポーツなんです。</p> <p>全部で23のチームが決勝大会に挑みました。その中には、佐賀県代表 唐津南高校のチームも！ 制限時間60分で、どれだけのごみを拾えるのか...さあ、見事優勝したのは？ 「埼玉県 掃除部Cチームのみなさんです！」 埼玉県代表 川口工業高校 掃除部Cチーム:「ごみ拾いをすることで、環境問題などが改善されるならとてもやる意味は感じられたかなと思います」</p> <p>実は、海にあるごみの多くは、私たちの住む街から出たもの。身近でできるごみ拾いが、海を守ることに繋がっているんです。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	81
投稿日	2021年2月4日(木曜日)
記事タイトル	イソギンチャク利用しカキ養殖の生産性増
記事本文	<p>茶や水産、林業のそれぞれの試験研究機関が、品種の研究・開発で生産性が向上したことを知事に報告したよ。</p> <p>報告会では茶や林業試験場と有明水産振興センターの担当者が山口知事にこれまでの成果を発表したんだ。</p> <p>このうち有明水産振興センターは、カキの殻に人為的にイソギンチャクを付着させることで、カキの成長を阻害するフジツボやホヤの付着を防いで身の大きなカキに育ち生産量の増加につながったことを発表。</p> <p>また林業試験場は、約50年かけて従来のスギより木材の強度が高く、約2倍の成長速度で、花粉の量が10分の1の新品種のスギの開発に成功し、今後普及させていくと報告したよ。</p> <p>山口知事は「長年の研究成果が、佐賀県の産業振興につながっていけば」と今後に期待を寄せていたよ。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	82
投稿日	2021年2月5日(金曜日)
記事タイトル	「味噌汁に・・・」小学生がワカメの収穫体験
記事本文	<p>子供たちに海の環境について考えてもらおうと、唐津市でワカメの収穫体験が行われたよ。</p> <p>ワカメの収穫体験は唐津市の佐志小学校の総合学習の一環で行われたもので、5日は5年生40人が参加。ワカメは去年11月に児童たちがロープに巻きつけ養殖したもので、長さ70センチから80センチに成長し、唐津市の漁港に水揚げされたよ。</p> <p>児童たちは地元の漁業者の指導を受けながらワカメを根本からハサミで切り取り収穫していたよ。</p> <p>男子児童:「初めて見た時(大きくて)びっくりしましたお母さんに渡してサラダか何かを作ってもらいます」</p> <p>女子児童:「こんな小さいのが大きくなるなんて思っていませんでした。味噌汁にして食べたいです」</p> <p>収穫したワカメは各自で家に持ち帰るほか、湯通しして保存し、学習成果などを発表する来月の感謝会で食べるんだって！</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	83
投稿日	2021年2月9日(火曜日)
記事タイトル	海洋ごみ問題について考えよう！アニメ「サンタ・カンパニー」
記事本文	<p>1月31日、サガテレビ4階でアニメ「サンタ・カンパニー～真夏のメリークリスマス～」の上映会が行われました。</p> <p>このアニメは南半球の島国を舞台に海洋ごみ問題をテーマにしたもの。子どもたちに海に流れるゴミがどんな問題を引き起こすのかを考えてもらうことを目的にしています。</p> <p>子どもたち、真剣に見てくれています。楽しみながら海のごみ問題について学んだ子どもたち。</p> <p>参加者:「海をキレイにした方がいいなって思った」 参加者:「海の環境について詳しく知れたからよかった」 参加者:「海がこんなに人間によって汚されていることを知れてよかったと思いました。これ以上海をごみで汚さないように、周りの人たちにごみをポイ捨てしないように呼びかけたいと思いました。」</p> <p>ひとりひとりの意識が変われば、きっと海も少しずつキレイになっていきますよね。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	84
投稿日	2021年2月10日(水曜日)
記事タイトル	春の訪れ告げる「シロウオ漁」やな掛け設置
記事本文	<p>唐津市浜玉町を流れる玉島川で春の訪れを告げる伝統的な「シロウオ漁」のやな掛けが行われたよ。</p> <p>玉島川に設置されたのはシロウオを捕獲するための伝統的な仕掛け「築(やな)」。</p> <p>水温が上がり始める春先から、産卵のため川を遡上するシロウオの性質に合わせて毎年この時期に行われていて、10日は「玉島川しろおの会」のメンバー6人が川の下流域にすだれでできた「築(やな)」を手際よく設置していたよ。</p> <p>漁のピークは今月中旬から4月中旬までで獲れたシロウオは踊り食いや天ぷら、炊き込みご飯として地元の料理店で提供されるんだけど、今年は新型コロナの影響も...</p> <p>玉島川しろおの会 中村静雄さん:「料理屋さんでの消費が少ないので消費は伸びないと思う早くコロナが収束することを祈っている」</p> <p>今年の漁獲量は300キロを見込んでいて、漁獲量に応じて地元の料理店で販売も行う予定なんだって。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	85
投稿日	2021年2月11日(木曜日)
記事タイトル	有明海の冷凍網ノリ入札会 西南部では一部色落ちも
記事本文	<p>有明海で養殖される、県産ノリの入札会が開かれたよ。出品枚数は去年より少なく、西南部では色落ちしたノリがみられたんだって。</p> <p>今シーズン5回目冷凍網ノリでは2回目となる入札会には、約2億7460万枚が出品され全国から約150人の買い付け担当者が訪れたよ。11日出品されたノリは冷凍網ノリの初回に摘んだものから4回摘みまでと幅広く、多くはコンビニのおにぎりなど業務用に使われるんだって。</p> <p>今シーズンの冷凍網ノリは雨が少なかったことなどからプランクトンが多く発生し、西南部の一部ではノリの生育に必要な栄養塩が不足し色が黒くならない「色落ち」がみられているんだ。</p> <p>県有明海漁協 古賀勝則 参事:「色落ちしていても、佐賀海苔の特徴の甘くてくちどけの良いノリがたくさん出ている。生産者も頑張っているので消費者にいっぱい食べてもらえれば」</p> <p>11日の平均単価は12円60銭と、去年より2円13銭安い取り引きだったよ。一方、県有明海漁協は「地域間の差が何十倍もあり、きょうの入札結果では網の撤去を始める漁業者もいるかもしれない」と懸念していたよ。</p>



2-(2) 投稿記事詳細

No.	86
投稿日	2021年2月16日(火曜日)
記事タイトル	東よか干潟にシチメンソウ復活!
記事本文	<p>こちらは一昨年、佐賀市の東よか干潟を取材した映像。 秋になると一面が真っ赤に染まり、干潟の風物詩となっていた植物、シチメンソウがここ数年ずっと立ち枯れている様子をお伝えしました。 原因も分からず、突然育たなくなったシチメンソウ。 それが今年、見事また美しい姿を見せてくれました。 海の紅葉とも呼ばれるシチメンソウの復活です。 そこには、市民の関心の高まりが影響したようです。 佐賀市東与賀支所 総務・地域振興グループ 飯田 豊一さん:「ボランティアと一緒に種まき、それと海岸の清掃をやってきました。昨年は毎日調査・観察を行っていました」 佐賀大学 農学部 郡山 益実准教授:「新聞とかテレビで取り上げられる回数が増えているので、その辺は関心が高くなっているのではないかと思います」 市の職員やボランティアの活動が増えたことによって、数年ぶりに美しい姿を見せてくれたシチメンソウ。 しかし... 佐賀大学 農学部 郡山 益実准教授:「(立ち枯れの)原因はよく分らないですね。観察することで徐々に(原因が)分かってくると思うんですけど」 今後も持続的な保全活動が必要とされています。</p>



事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

3. 海応援動画制作・放送

3-(1) 海応援動画リスト

動画ID	動画タイトル	尺(秒)
佐賀県-A01	コロナに負けるな！うみダンス！	120秒
佐賀県-A02	おうちで簡単！美味しい！うみ料理	120秒
佐賀県-A03	Origamiプロジェクトって何？	120秒
佐賀県-A04	知っていますか？「海の森」	120秒
佐賀県-A05	アスパラ作りと海の関係!?	120秒
佐賀県-A06	有明海の魅力を発信！鹿島市ミニ水族館	120秒
佐賀県-A07	あなたにとって海とは？	120秒
佐賀県-A08	海洋ゴミ問題を考えよう「佐賀市 環境パネル展」	120秒
佐賀県-A09	カブトガニ産卵地 清掃活動	120秒
佐賀県-A10	さがっ子リレー放流	120秒
佐賀県-A11	鹿島市こどもラムサール観察隊	120秒
佐賀県-A12	大志小学校 海レジャー体験	120秒
佐賀県-A13	浜崎海岸に新登場！新しいマリンアクティビティとは？	120秒
佐賀県-A14	海洋ごみ削減で多業種が連携！	120秒
佐賀県-A15	ムツゴロウになれる!?!海遊ふれあいパーク「干潟体験場」	120秒
佐賀県-A16	おいしく知ろう！唐津の海	120秒
佐賀県-A17	ギョギョギョ小学生が〇〇〇〇作りに挑戦	120秒
佐賀県-A18	海に感謝！佐賀の新鮮魚介ごはん	120秒
佐賀県-A19	親子で思いでづくり！有明海 親子探検隊	120秒
佐賀県-A20	キレイな海を未来へ！アクトクリーンSAGA	120秒
佐賀県-A21	佐賀の干潟博士	120秒
佐賀県-A22	大切な海を守るためにゴミゼロウィーク清掃	120秒
佐賀県-A23	地球に優しいスポーツスポGOMI甲子園	120秒
佐賀県-A24	海のゴミで〇〇〇を作ろう！	120秒
佐賀県-A25	海岸を歩いて健康に！肥前鹿島干潟ウォーキングコース	120秒
佐賀県-A26	小学生考案の魚ロックを販売！	120秒
佐賀県-A27	マリンスポーツをもっと身近に	120秒
佐賀県-A28	地球に優しいスポーツスポGOMI甲子園決勝大会	120秒
佐賀県-A29	海洋ごみ問題について考えよう！アニメ「サンタ・カンパニー」	120秒
佐賀県-A30	東よか干潟にシチメンソウ復活！	120秒

3-(2) 海応援動画詳細

動画ID	佐賀県-A01
動画タイトル	コロナに負けるな！うみダンス！
内容	<p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>「うみダンス」について放送しました。</p> <p>海のことが学べて、海がもっと好きになれる「うみダンス」！を橋爪和泉アナウンサー、平川邦明アナウンサー、堀江舞アナウンサーの3人が踊って紹介しました。また、「うみダンス」の曲と振り付けを海と日本プロジェクトのホームページで公開していることを案内しました。</p>

放送日時	放送番組名	放送尺(秒)
5月23日(土曜日) 10:55~11:00	海と日本PROJECT in 佐賀	120秒



3-(2) 海応援動画詳細

動画ID	佐賀県-A02
動画タイトル	おうちで簡単！美味しい！うみ料理
内容	<p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>おうちで簡単につくれる美味しいうみ料理について放送しました。</p> <p>「鰯(あじ)の海苔チーズピカタ」を、ママさん栄養士の土田和美さんがレシピと合わせて実演形式で紹介しました。佐賀県唐津産「鰯」、有明海産「海苔」を使用しました。佐賀の特産物を組み合わせて、タンパク質、カルシウム、ミネラルなどの栄養も豊富で、成長期のお子さんにもお勧めできる美味しい料理を作りました。</p>

放送日時	放送番組名	放送尺(秒)
5月30日(土曜日) 10:55~11:00	海と日本PROJECT in 佐賀	120秒



3-(2) 海応援動画詳細

動画ID	佐賀県-A03
動画タイトル	Origamiプロジェクトって何？
内容	<p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>佐賀県唐津市の子どもたちだけで活動している「origamiプロジェクト」を紹介しました。自分たちで作った折り紙を、チャリティーイベントなどで販売し、その収益を、震災のあった国内外の地域やアフガニスタンなどに寄付しています。origamiプロジェクトは2016年に発足され、現在16人が活動しています。</p> <p>今回は折り紙を折っている様子取材。カメやカニなどの海の生き物を模した折り紙を折っていました。代表の瀬戸美羽(小6)さんは「世界にはたくさん困っている人たちがいて、自分たちで何か少しでも力になれることがあればやりたいと思って始めました」と語っていました。また、海の生き物が大好きなプロジェクトメンバーで、「みんなの海プロジェクト」として月に1回海の清掃活動も行っています。</p> <p>困っている人たちを助けたい、地元の海を守りたいという子供たちの願いがこのプロジェクトを通してたくさんの人届くことを期待しています。</p>

放送日時	放送番組名	放送尺(秒)
5月31日(日曜日) 11:45~11:50	海と日本PROJECT in 佐賀	120秒



3-(2) 海応援動画詳細

動画ID	佐賀県-A04
動画タイトル	知っていますか?「海の森」
内容	<p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>有明海の漁師たちが海に竹を刺して作る海の森を取材。有明海から顔を出しているのは、竹...ですね。佐賀県有明海漁業協同組合 副組合長理事 杉町省次郎さんによると「自然に育つならば海もこういう風にならないでしょうね」とのこと。続けて、「竹を刺すことによって付着生物が付きま。珪藻や貝の幼生です。付着生物が付くことで新しい生態系ができます。」実は環境の変化などで有明海の漁獲量は減少。今年6年目となる海の森の成果を聞くと、「成果はすぐにはでないです。幼生は1年くらいで付くのですが成長するのに2年くらいかかります。」「生き物が近寄っている話は聞きますが、実際住み着くにはもう少し時間がかかると思います。」と答えました。</p>

放送日時	放送番組名	放送尺(秒)
7月1日(水曜日) 11:20~11:25	海と日本PROJECT in 佐賀	120秒



3-(2) 海応援動画詳細

動画ID	佐賀県-A05
動画タイトル	アスパラ作りと海の関係!?
内容	<p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>アスパラ農家のA-nokerを取材。標高996メートルの太良町にそびえる多良岳。この山の中腹にある森にアスパラを専門で育てている農園「A-noker(ええのうかー)」があります。減農薬そして、太良町のおいしい水で作ったアスパラは、「森のアスパラ」というブランドで、主に首都圏や料亭などに出荷されています。</p> <p>A-noker 安東浩太郎社長は「私自身がこの太良町を大好きになって、太良の環境に惚れ込んだ。環境を壊さないように、太良の山と海と一緒に無理のないアスパラ栽培を意識して作っています。」と話します。でも森で作るアスパラがいったい海とどう繋がっているのでしょうか？安東社長によると「太良町でとれる竹崎カキ・竹崎カニ。こういった殻を肥料に与えることでおいしいアスパラができる。みずみずしくて、筋のない柔らかいアスパラができます。」とのこと。山のおいしい水と海の贈り物。この二つが合わさっておいしいアスパラができるんですね。</p>

放送日時	放送番組名	放送尺(秒)
7月8日(水曜日) 11:20~11:25	海と日本PROJECT in 佐賀	120秒



3-(2) 海応援動画詳細

動画ID	佐賀県-A06
動画タイトル	有明海の魅力を発信！鹿島市ミニ水族館
内容	<p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>広大な有明海の干潟に面した鹿島市の干潟交流館。その一角にミニ水族館があります。ムツゴロウやシマフグ、ビゼンクラゲなど有明海にいる生き物を季節替わりで展示。見て触れて楽しめる水族館になっています。鹿島市干潟交流館の藤井さんは「有明海の生き物を見てもらうというのが大きな目的で、魚であったりカニであったり貝であったりそういうものを中心に見てもらうのが目的です。」と話します。また、ミニ水族館のお隣には展望デッキもあって有明海を一望できます。藤井さんは最後に、「昔の有明海と今の有明海はちょっと違って、出てくる生き物も違う。そういうものも紹介してまいりますので、有明海ってどういう所なのかなって実際に考えてもらいたい。子どもたちが大人になった時に、有明海をどう活用していくかというのを考えてもらいたい。」と話しました。</p>

放送日時	放送番組名	放送尺(秒)
7月15日(水曜日) 11:20~11:25	海と日本PROJECT in 佐賀	120秒



3-(2) 海応援動画詳細

動画ID	佐賀県-A07
動画タイトル	あなたにとって海とは?
内容	<p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>本格的な夏真っ盛り!今回は 佐賀の海で、みなさんにとって海とはどんなものなのか、唐津市「西の浜海水浴場」と伊万里「多々良海岸」にいる人たちに聞いてきました。「たのしいところ」「あそぶところ」「かいがら」「癒し」「人の生活を豊かにするもの」「母」「大切なもの」「守りたいもの」等等。みなさん海に対する様々な思いを持っていました。</p>

放送日時	放送番組名	放送尺(秒)
7月22日(水曜日) 11:20~11:25	海と日本PROJECT in 佐賀	120秒



3-(2) 海応援動画詳細

動画ID	佐賀県-A08
動画タイトル	海洋ゴミ問題を考えよう「佐賀市 環境パネル展」
内容	<p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>佐賀市の佐賀市役所で行われている海のゴミ問題などを取り上げた環境パネル展を取材。会場では、海洋プラスチックゴミの問題を取り上げたパネルや佐賀市の東よか干潟に漂着したペットボトルなどのプラスチックごみが展示されていました。</p> <p>佐賀市環境政策課の瀬戸さんは、「市民のみなさまに海洋プラスチックごみ問題を始めた環境保全に関する関心を高めるきっかけになればと考え企画しました」と語ります。また、佐賀市の職員が実際に所有しているマイバッグも展示されています。瀬戸さんは最後に「こうしたパネル展を通して海洋プラスチックごみ問題に興味・関心を持っていただいて、日頃のプラスチックとの賢い付き合い方を考えていただくきっかけになればと願っております」と話しました。</p>

放送日時	放送番組名	放送尺(秒)
7月29日(水曜日) 11:20~11:25	海と日本PROJECT in 佐賀	120秒



3-(2) 海応援動画詳細

動画ID	佐賀県-A09
動画タイトル	カブトガニ産卵地 清掃活動
内容	<p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>伊万里市の多々良海岸で行われた伊万里高校の学生による清掃活動の様子を放送。カブトガニがここに産卵に来るので、産卵しやすい環境を作るためにみんなでゴミ拾いしているとのこと。ここ多々良海岸は日本でも有数の希少なカブトガニの産卵地として有名な場所です。そのカブトガニが産卵しやすい環境を作ろうと、毎年こうしてみんなで海岸をキレイにしています。高校生からは「大変だったけどキレイになって良かった」「たくさんキレイになったので産卵しに来てほしい」「人間がこういう環境を作ってしまったから、人間が戻していかないと、と思います」と前向きな言葉が。毎年カブトガニがここに帰ってこられるのは、みんなの思いがあってこそ、なんです。</p>

放送日時	放送番組名	放送尺(秒)
8月4日(火曜日) 11:20~11:25	海と日本PROJECT in 佐賀	120秒



3-(2) 海応援動画詳細

動画ID	佐賀県-A10
動画タイトル	さがっ子リレー放流
内容	<p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>唐津市の西の浜海水浴場で毎年行われている、さがっ子リレー放流を放送。ここでは地元の子どもたちがカサゴ(地元でいうアラカブ)の稚魚放流を行っています。今年度は唐津幼稚園の子どもたち16人が参加して、約500匹のカサゴを放流しました。玄海水産振興センター副所長 増田さんは「今回のイベントはお子さんたちに海と魚に親しんでもらうというところとか、今なかなか魚がとれなくなってきているので、資源を維持するためには魚の子どもを放流することも必要だということを学んでもらいたい」「子どもたちへの普及啓発が目的となっています。これから放流した魚が大きくなってまた増えていくというところも学んでもらいたい」と語ります。子どもたちは「大きくなあれ!」「大きくなってねって」「楽しかった大きくなってほしい」と稚魚放流の大切さを理解できていたようです。</p>

放送日時	放送番組名	放送尺(秒)
8月5日(水曜日) 11:20~11:25	海と日本PROJECT in 佐賀	120秒



3-(2) 海応援動画詳細

動画ID	佐賀県-A11
動画タイトル	鹿島市こどもラムサール観察隊
内容	<p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>鹿島市こどもラムサール観察隊の開講式の様子を放送。この団体は、鹿島市内の各小学校の4年生～6年生を対象に干潟体験だったり様々な活動を通して次世代につながるリーダーを育成していく活動をしています。この日は干潟のことをもっと知ってもらおうとどろんこになって遊ぶことに。鹿島市役所ラムサール条約推進室 細竹さんは「昔より干潟に入る人が少なくなって干潟が死んでいるというか、酸素が少なかったりとかあるんですけど、入って踏みならしたりすることで酸素が干潟の中に入って生き返る」「こういう貴重な自然の中で教育ができたりとか自然を通じて感じてもらうことがいろいろあるのかなと思います」と話します。</p>

放送日時	放送番組名	放送尺(秒)
8月11日(火曜日) 11:20～11:25	海と日本PROJECT in 佐賀	120秒



3-(2) 海応援動画詳細

動画ID	佐賀県-A12
動画タイトル	大志小学校 海レジャー体験
内容	<p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>大志小学校の海レジャー体験を取材。唐津城を一望できる玄界灘のそばにあるヨットハーバー。実はここ、学生にヨットの練習場を提供しようと、県が運営している施設なんです。大志小学校は海のすぐそばにある学校で、総合的な学習の一環としてすぐそばにある海とふれあう学習をしているとのこと。小学生のみなさんはヨットやシーカヤックなどの海レジャーを楽しんでいます。大志小学校の田中校長は「自分たちの住んでいる地域の良さを肌で感じてもらいたいということが一つ、実はゴミが浮かんでいたり、砂浜にいろいろなものが打ち上げられていたり、そういったことに気づいて自分たちに何かできないかな、海を守っていきたいなという気持ちを持たせて、実際に活動に移していけるような子どもたちにしていきたい」と語りました。</p>

放送日時	放送番組名	放送尺(秒)
8月12日(水曜日) 11:20~11:25	海と日本PROJECT in 佐賀	120秒



3-(2) 海応援動画詳細

動画ID	佐賀県-A13
動画タイトル	浜崎海岸に新登場！新しいマリナクティビティとは？
内容	<p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>唐津市の浜崎海岸に登場した新しいアクティビティを放送。ウインド&カイトサーフィンホップス 吉末さんは「foil」というアクティビティを提供しています。ボードの下に羽根がついていて、水中で揚力を生みボードを浮かせることで宙に浮く体験が得られるそうです。吉末さんはこのfoilの魅力に初心者にも広めようと、吉末さん独自にけん引装置を作ったのだとか。吉末さんは「今まで自分たちが40年もかかって培ったものを、いろんな道具を使って分かりやすく伝えている」「上級者じゃないとできないんじゃないくて、こういう動きが出来るとすぐ出来ますよというのを伝えていますので、そこを喜んでいただくことがまた楽しいです」と話しました。</p>

放送日時	放送番組名	放送尺(秒)
8月18日(火曜日) 11:20~11:25	海と日本PROJECT in 佐賀	120秒



3-(2) 海応援動画詳細

動画ID	佐賀県-A14
動画タイトル	海洋ごみ削減で多業種が連携！
内容	<p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>7月29日に東京の日本財団ビルで行われた「アライアンス・フォー・ザ・ブルー」のキックオフイベントを放送。「アライアンス・フォー・ザ・ブルー」は、日用品や飲食品、リサイクルなど多業種の企業が連携することで新たな海洋ごみの発生防止、また資源循環型社会を実現するモデルづくりを目指す組織です。現在、参加企業は14社。100年後の子どもたちにも恵の多い海を残そうと、これから環境にやさしい商品づくりや仕組みづくりなどを手を取り合って考えていきます。日本財団 笹川陽平会長は「世界の海洋問題の1つの大きな切り口をこのアライアンスによって実現していただきたい」と話しました。</p>

放送日時	放送番組名	放送尺(秒)
8月19日(水曜日) 11:20~11:25	海と日本PROJECT in 佐賀	120秒



3-(2) 海応援動画詳細

動画ID	佐賀県-A15
動画タイトル	ムツゴロウになれる!?海遊ふれあいパーク「干潟体験場」
内容	<p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>小城市芦刈海岸沿いにある海遊ふれあいパークについて放送。ユニークなムツゴロウのオブジェが目印の海遊ふれあいパークは、オートキャンプ場や、広々とした公園もあってアウトドア好きに人気の施設です。なかでも注目なのが干潟体験場です。小城市商工観光課の小松さんは、「本体験場は、人間ムツゴロウになれる施設です。裸足になってムツゴロウや希少な生物を見ながら泥遊びができる施設です」と話します。温水シャワー施設も完備しており汚れても安心です。体験場の中には、シオマネキやムツゴロウなど有明海の海の生き物が確認できました。</p>

放送日時	放送番組名	放送尺(秒)
8月25日(火曜日) 11:20~11:25	海と日本PROJECT in 佐賀	120秒



3-(2) 海応援動画詳細

動画ID	佐賀県-A16
動画タイトル	おいしく知ろう！唐津の海
内容	<p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>海と日本プロジェクト佐賀県実行委員会のオリジナルイベントの様子を放送。唐津市の串浦海岸で子どもたちが漁師体験を行いました。佐賀大学農学部特任助教藤井さんは「この企画は海を知ってもらうということが重要で、海に実際出てもらってどんな魚がいるとか、漁師さんの生活を見ながら体験してもらって海を楽しんでもらう、知ってもらうための企画です」と語ります。漁業体験に参加した子どもは「楽しかった」「いろんな魚と出会えてよかったです」と話します。その後、お昼はみんなでとった魚でバーベキューを行いました。そして午後からは最近のイカの不漁問題や海洋ごみ問題など地元の海の現状を学びました。藤井さんは最後に「唐津の海は大きく変化してきました。ごみ、温暖化。こういうもので海がコロッと変わっています。海が変わるとなると我々の生活も変えなきゃいけないので、ではどういう風に変えていくかというのは、今後先の子もたちの生活にかかっている。そこをどうするかっていうきっかけになってもらえればいいかなと思っています」と話しました。</p>

放送日時	放送番組名	放送尺(秒)
8月26日(水曜日) 11:20~11:25	海と日本PROJECT in 佐賀	120秒



3-(2) 海応援動画詳細

動画ID	佐賀県-A17
動画タイトル	ギョギョギョ小学生が〇〇〇〇作りに挑戦
内容	<p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>海と日本プロジェクト佐賀県実行委員会のオリジナルイベントの様子を放送。前回子どもたちが唐津で漁業体験や海の問題などを勉強したので、それを踏まえて魚ロッケ作りを行いました。イカやタイ、カレーにチーズ、野菜などそれぞれお好みの具材を調理。参加した子どもたちは「コーンとかめっちゃ入ってておいしい」「パプリカの風味がしてとてもおいしい」と満足そうに話しました。ちなみにこの日一番人気だった「チーズ入りハンバーグ風魚ロッケ」はふじ川蒲鉾本店・唐津うまかもん市場で実際に販売されます。講師を務めた土田和美さんは「イカは漁獲量が減ったりして今問題が言われていますし、地元にはどんな素材があるかやその良さを他所の方に伝えていける発想や刺激が子どもたちにあつたらいいなと思います」と話しました。</p>

放送日時	放送番組名	放送尺(秒)
9月2日(火曜日) 11:20~11:25	海と日本PROJECT in 佐賀	120秒



3-(2) 海応援動画詳細

動画ID	佐賀県-A18
動画タイトル	海に感謝！佐賀の新鮮魚介ごはん
内容	<p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>推進パートナー連携事例の紹介で、飲食店でのオリジナルメニュー開発取材しました。佐賀県の北には玄界灘、南には有明海。つまり、海の幸が豊富。そんな佐賀県のおいしすぎるポテンシャルを活かしたオリジナルメニューをKing Kitchenが開発しました。その名も「佐賀県産のヤリイカの魚介ごはん」。ご飯も魚介のダシで炊いているというこだわりっぷりです。オーナーの江口さんは開発した理由として「佐賀のイカといえば全国的にも有名食材なので、その食材を使ったメニューを作ることによって食べてもらって、海を大事にしないと美味しい魚介を食べられなくなるかもしれない、海のことを考えるきっかけになればと思い作りました」と話しました。『海を味わうとは、恩恵に感謝すること』そんな思いが詰まった佐賀ならではの料理です。</p>

放送日時	放送番組名	放送尺(秒)
9月9日(火曜日) 11:20~11:25	海と日本PROJECT in 佐賀	120秒



3-(2) 海応援動画詳細

動画ID	佐賀県-A19
動画タイトル	親子で思いづくり！有明海 親子探検隊
内容	<p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>森・川・海での環境保全の取り組みと、水産資源を守ることの大切さを知ってもらうために実施されている有明海親子探検隊の様子を放送しました。まずは、展示館で海に関する資料を見学したあとは船に乗って有明海の探検に出発しました。海に浮かぶ自動海況観測タワーは有明海の水温や塩分を計測する施設です。続いて、伝統漁法アンコウ網漁を見せてもらいました。漁で獲れたお魚はお持ち帰りができました。参加した親子は「楽しかった」「貴重な体験ができてありがたいと思います」と話しました。親子の素敵な夏の思い出ができました。</p>

放送日時	放送番組名	放送尺(秒)
9月16日(火曜日) 11:20~11:25	海と日本PROJECT in 佐賀	120秒



3-(2) 海応援動画詳細

動画ID	佐賀県-A20
動画タイトル	キレイな海を未来へ！アクトクリーンSAGA
内容	<p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>清掃活動「アクトクリーンSAGA」の様子を放送しました。およそ700人の方に参加いただいた清掃活動。参加者は「ペットボトルと缶が意外に多い」「自分もゴミを捨てないようにしなきゃと思いました」「自分たちの力だけだと微々たるものですが、みんなでやればあっという間にキレイになった」と話しました。今回は海と日本プロジェクトのブースが設けられ、参加者に有明海に住む海の生き物が描かれた缶バッジが配られました。また、サガテレビと佐賀県のコラボで作られたトートバッグもプレゼントされました。この日集められたゴミはおよそ3トン。これからも豊かな地元の海の環境をみんなで守っていききたいものですね。</p>

放送日時	放送番組名	放送尺(秒)
9月23日(火曜日) 11:20~11:25	海と日本PROJECT in 佐賀	120秒



3-(2) 海応援動画詳細

動画ID	佐賀県-A21
動画タイトル	佐賀の干潟博士
内容	<p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>佐賀の熱源人材として研究者の藤井先生を取材しました。干潟博士こと藤井先生は、有明海の環境や生き物の研究をはじめて9年目。今回は“貧酸素”の有無の調査をされていました。干潟の泥を採取して専用の機器で酸素の量を測定しています。測定の結果、有明海は生き物にとっては住みやすい泥だということがわかりました。私たちにできる貧酸素対策として藤井先生は「おそらく昔の方はすごく干潟に入っていたと思う。遊びや釣りなど。干潟で遊ぶことは有明海の環境を良くするポイントかもしれません」と話しました。</p>

放送日時	放送番組名	放送尺(秒)
9月30日(火曜日) 11:20~11:25	海と日本PROJECT in 佐賀	120秒



3-(2) 海応援動画詳細

動画ID	佐賀県-A22
動画タイトル	大切な海を守るためにゴミゼロウィーク清掃
内容	日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。 海ごみゼロウィークに清掃する企業の様子を取材しました。佐賀県では第一生命佐賀支社の皆さんが佐賀市内の佐賀城公園周辺で清掃活動を行いました。参加された理由として宮崎支店長は「海のごみの80%が陸から来ているんだと聞いて、これを機会にみんなで、大好きな佐賀の町をきれいにしよう！という声がたくさんあったので参加しました」と話しました。当日のごい拾いの結果として、ペットボトルや缶など人間が出している生活ごみが多かったとのこと。参加された社員の方は「ゴミを捨てない、気づいたら拾うということを改めて感じました。」と話しました。

放送日時	放送番組名	放送尺(秒)
10月13日(火曜日) 11:20~11:25	海と日本PROJECT in 佐賀	120秒



3-(2) 海応援動画詳細

動画ID	佐賀県-A23
動画タイトル	地球に優しいスポーツスポGOMI甲子園
内容	<p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>スポGOMI甲子園佐賀県大会の様子を放送しました。唐津市東の浜海浜公園に集まった高校生たちの手にはトングとゴミ袋！？この日開催されたのはスポGOMI甲子園、3人1組のチームで60分間ゴミを拾いその質と量をポイントで競いあう、地球に優しいスポーツなんです。出場した高校生は「ビニール系のゴミが多いです。意外と汚いなあとと思います」と話します。中には、オリジナルのゴミ拾い道具を持参した高校生もいました。優勝したのは「唐津南高校 イケメン3人組チーム」。優勝チームのメンバーは「自分たち高校生が少しでもゴミを拾って環境問題を改善できたらいいと思います」と話しました。世界的に深刻になっている海洋ゴミ問題の解決に高校生たちがアクションを起こします！</p>

放送日時	放送番組名	放送尺(秒)
10月14日(水曜日) 11:20~11:25	海と日本PROJECT in 佐賀	120秒



3-(2) 海応援動画詳細

動画ID	佐賀県-A24
動画タイトル	海のゴミで〇〇〇を作ろう!
内容	日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。 唐津市の波戸岬で行われたイベントの様子を取材しました。唐津のEco Robo Mateに所属する小学生は海のごみを減らすための取り組みとして、「くじらプロジェクト」を実施しています。ここでは、海で拾ったごみのみで作られたくじらの模型作品が展示されていました。メンバーの田中さんはプロジェクトを立ち上げた理由として、「くじらの井の中にプラスチックが入ってうちあげられているニュースを見て、くじらプロジェクトで環境問題に取り組んでくれる人を増やせればいいと思ったので」と話しました。この日は目の部分をとりつけて作品完成しました。海と海の生き物へのやさしい想いが届くといいですね。

放送日時	放送番組名	放送尺(秒)
10月20日(火曜日) 11:20~11:25	海と日本PROJECT in 佐賀	120秒



3-(2) 海応援動画詳細

動画ID	佐賀県-A25
動画タイトル	海岸を歩いて健康に！肥前鹿島干潟ウォーキングコース
内容	<p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>有明海の周辺で取り組まれているウォーキングコースを取材しました。鹿島市役所のラムサール条約推進室では、肥前鹿島干潟の周辺の道路を、ジョギング・ウォーキング・サイクリングを快適にさせていただくためのものに整備しています。いま何キロ、という表示もあって、これは楽しくウォーキングができそうです！訪れた方は「潮が引いていて光っていて綺麗ですね。」「空気がすごく気持ちいいです、海の風も吹いているし。」「平地層でペース層にはベストなコースですね」と話しました。鹿島市役所の細竹さんは「肥前鹿島干潟はラムサール条約登録地になっていますので、こちらのほうに来ていただいて素敵な景色を見て運動していただけたらと思います。」と話しました。</p>

放送日時	放送番組名	放送尺(秒)
10月21日(水曜日) 11:20~11:25	海と日本PROJECT in 佐賀	120秒



3-(2) 海応援動画詳細

動画ID	佐賀県-A26
動画タイトル	海のゴミで〇〇〇を作ろう!
内容	<p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>海と日本プロジェクト佐賀県実行委員会のオリジナルイベントのその後を放送しました。先日、小学生が唐津のお魚を使った魚ロッケ作りに挑戦。そこで一番人気だったのが、チーズを使った魚ロッケ。この魚ロッケが唐津市の蒲鉾店で期間限定で販売されました。ちなみに包装紙も小学生が描いた海の絵。代表の藤川さんは「みなさん(食べられて)とももおいしいと。これが小学生が考えた品物かと、ものすごくよい評判を頂いていております。魚ロッケを通して少しでも海のことに関心を持ってもらって海のこと自体をいろいろ学んでいただけたらなと思います」と話しました。子どもたちが地元のお魚に触れる良い機会となりました。</p>

放送日時	放送番組名	放送尺(秒)
10月27日(火曜日) 11:20~11:25	海と日本PROJECT in 佐賀	120秒



3-(2) 海応援動画詳細

動画ID	佐賀県-A27
動画タイトル	マリンスポーツをもっと身近に
内容	<p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>ヨットハーバー取材。唐津市ニタ子にあるヨットハーバー。ここが先日、伊万里海の駅に続いて県内2か所目となる「さがからつ海の駅」に認定されました。担当者の久保田さんは「近くの皆様にマリンスポーツをもっと気軽に楽しんでもらえるようなイベントを企画したいと思っています」と話します。親子で体験できるカヤック教室、ディンギーヨット体験、クルーザー乗船体験などを予約制で募集しているとのこと。久保田さんは続けて「もっと地元にある環境を活かしてマリンスポーツを楽しんでいただいたり、クルージングを体験したりして、唐津って本当にいいところなんだっていうのを実感してもらいたい」と話しました。</p>

放送日時	放送番組名	放送尺(秒)
10月28日(水曜日) 11:20~11:25	海と日本PROJECT in 佐賀	120秒



3-(2) 海応援動画詳細

動画ID	佐賀県-A28
動画タイトル	地球に優しいスポーツスポGOMI甲子園決勝大会
内容	<p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>スポGOMI甲子園の決勝大会を取材。去年11月22日、東京の墨田区に大勢の高校生が集まり、ごみ拾い高校生日本一を競うスポGOMI甲子園の決勝大会が開催されました。スポGOMI甲子園とは3人1組のチームで60分間ごみを拾い、その拾ったごみの種類と量でポイントを競い合う、地球に最も優しいスポーツなんです。</p> <p>全部で23のチームが決勝大会に挑みました。その中には、佐賀県代表の唐津南高校のチームも！見事優勝したのは、埼玉県代表 川口工業高校 掃除部Cチーム。インタビューでは「ごみ拾いをすることで、環境問題などが改善されるならとてもやる意味は感じられたかなと思います。」と答えました。実は、海にあるごみの多くは、私たちの住む街から出たもの。身近でできるごみ拾いが、海を守ることに繋がっているんです。</p>

放送日時	放送番組名	放送尺(秒)
2月2日(火曜日) 11:20~11:25	海と日本PROJECT in 佐賀	120秒



3-(2) 海応援動画詳細

動画ID	佐賀県-A29
動画タイトル	海洋ごみ問題について考えよう！アニメ「サンタ・カンパニー」
内容	<p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>日本財団「海と日本プロジェクト」Change for the blueの一環として海洋ごみの問題を伝えるアニメの上映会の様子取材。1月31日、サガテレビ4階でアニメ「サンタ・カンパニー～真夏のメリークリスマス～」の上映会が行われました。このアニメは南半球の島国を舞台に海洋ごみ問題をテーマにしたもの。子どもたちに海に流れるゴミがどんな問題を引き起こすのかを考えてもらうことを目的にしています。参加者からは、「海をキレイにした方がいいなって思った」「海の環境について詳しく知れたからよかった」「海がこんなに人間によって汚されていることを知れてよかったと思いました。これ以上海をごみで汚さないように、周りの人たちにごみをポイ捨てしないように呼びかけたいと思いました。」などゴミ問題を自分ごとに考えてくれたようです。ひとりひとりの意識が変われば、きっと海も少しずつキレイになっていきますよね。</p>

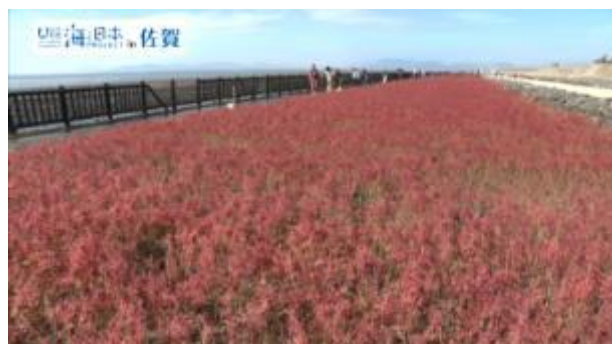
放送日時	放送番組名	放送尺(秒)
2月9日(火曜日) 11:20～11:25	海と日本PROJECT in 佐賀	120秒



3-(2) 海応援動画詳細

動画ID	佐賀県-A30
動画タイトル	東よか干潟にシチメンソウ復活！
内容	<p>日本財団などがオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」について放送する番組。</p> <p>東よか干潟のシチメンソウを取材。秋になると一面が真っ赤に染まり、干潟の風物詩となっていた植物、シチメンソウがここ数年ずっと立ち枯れている様子を海と日本プロジェクトin佐賀で昨年お伝えしました。原因も分からず、突然育たなくなったシチメンソウ。それが今年、見事また美しい姿を見せてくれました。海の紅葉とも呼ばれるシチメンソウの復活です。そこには、市民の関心の高まりが影響したようです。</p> <p>佐賀市東与賀支所 総務・地域振興グループ 飯田 豊一さんは「ボランティアと一緒に種まき、それと海岸の清掃をやってきました。去年は毎日調査・観察を行っていました」と話しました。また佐賀大学 農学部 郡山 益実准教授は「新聞とかテレビで取り上げられる回数が多くなっているの、その辺は関心が高くなっているのではないかと思います」と述べられました。しかし、教授によると根本的な原因はまだわかっていないということです。今後も持続的な保全活動が必要とされています。</p>

放送日時	放送番組名	放送尺(秒)
2月16日(火曜日) 11:20~11:25	海と日本PROJECT in 佐賀	120秒



事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

4.プロジェクト訴求映像 制作・放送

事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

4-(1) プロジェクト訴求映像リスト

動画ID	動画タイトル	放送期間	放送回数
佐賀県-B01	泳げ!みんなのお魚	2020/5/19~2020/6/1	182回
佐賀県-B02	海の日インタビュー	2020/7/22~2020/8/4	90回
佐賀県-B03	海ごみ対策	2021/3/2~2021/3/10	44回

4-(2) プロジェクト訴求映像詳細

動画ID	佐賀県-B01
動画タイトル	泳げ！みんなのお魚
放送時期	2020年5月19日(火曜日)～2020年6月1日(月曜日)
放送回数	182回



泳げ！みんなのお魚プロジェクト。



思いがこもった海の生き物を実際に泳がせてみました！



海はいつまでも君たちを待ってるよ！



海と日本！(♫共通サウンドロゴ)

4-(2) プロジェクト訴求映像詳細

動画ID	佐賀県-B02
動画タイトル	海の日インタビュー
放送時期	2020年7月22日(水曜日)～2020年8月4日(火曜日)
放送回数	90回



(インタビュー音源)

私にとって海とは癒しです。

大切なものです。



あそぶところ。

守りたいものです。



海と日本! (♫共通サウンドロゴ)

4-(2) プロジェクト訴求映像詳細

動画ID	佐賀県-B03
動画タイトル	海ごみ対策
放送時期	2021年3月2日(火曜日)~2021年3月10日(水曜日)
放送回数	44回



(インタビュー音源)

自分も捨てないようにしなきゃいけないと思います



自分の力だけだとほんと微々たるものでもみんなでやれば



あっという間にきれいになりましたね



海と日本! (♫共通サウンドロゴ)

「#日本財団」「#海と日本」「#umigomi」で検索してね!
Facebook/Twitter/Instagram

海と日本プロジェクトin佐賀県は、日本財団が主催する「海と日本プロジェクト」の佐賀県実行委員会です。

事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

5. 知事・市区町村長からのメッセージ

5 知事・市区町村長からのメッセージ詳細

No	エリア	氏名	メッセージ内容
1	武雄市	小松政市長	武雄市は、佐賀県西部に位置した歴史ある温泉都市です。一級河川である松浦川と六角川の源流を持ち、支川を合わせてそれぞれ玄界灘と有明海へ注がれています。我々の生活は、健全な環境なくしては成り立ちえません。豊かな森や海とつながる河川を守るにより、日本の、そして世界の海が守られます。この「海と日本プロジェクト」を通じて一人一人が環境保全の意識を高め、海を守り共生していく気持ちが未来を生きる子ども達に引き継がれることを期待しています。
2	多久市	横尾俊彦市長	多久市は、佐賀県中央に位置し、四方を山々に囲まれた盆地のまちであり、市の中央部に広がる平坦地には牛津川をはじめとする大小の河川が台地をうるおし、緑豊かな田園地帯を形成しています。日本列島は比較的急峻な山々があり、そのおかげで清らかな潺(せせらぎ)もあります。美しい光景や眩しいばかりの新緑の光が、そこには輝きます。そんな郷土の風景も未来につないで、後世の人々に伝えたいものです。そのためにも、世界の生命のためにも、美しく、清らかな、水と水源の里を、守り、育み、伝えていきたいものです。
3	有田町	松尾佳昭町長	有田町は、佐賀県の西北部に位置し、東は黒髪山、西は国見山の間を流れる有田川の源流となっており、その流れは自然豊かな伊万里湾に注ぎこんでいます。 私たちの生活は海がもたらす水の循環によって支えられており、森林や河川の環境を守ることは豊かな海づくりに繋がります。この「海と日本プロジェクト」の活動を契機に、ますます環境保全の意識の向上に取り組みたいです。 森を守り、育て、暮らしに活かしながら、次世代に繋げる森づくりの輪が、海へと広がっていくことを祈念します。



1. 武雄市長



2. 多久市長



3. 有田町長

事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

6.本部・他助成事業との連携企画

事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

6-(1) 本部・他助成事業との連携企画リスト

開催日	イベント名
2020年4月21日(火)～6月1日(月)	stay home with the sea (佐賀県)
2020年8月11日(火)～10月2日(金)	CHANGE FOR THE BLUE (海ごみゼロアワード・海ごみゼロウィーク)
2020年9月13日(日)	さばける塾in佐賀(日本さばけるプロジェクト)
2020年9月17日(木)～11月2日(月)	海洋連盟「うみぼすグランプリ」
2020年9月19日(土)	スポGOMI甲子園(佐賀大会)
2020年9月30日(水)	熱源プロジェクト
2020年10月10日(土)～10月16日(金)	海のごちそうウィークSNS発信
2021年1月31日(日)	海とMAGNET
2020年2月25日(木)	海と日本ニュースプロジェクト2020

6-(2) 本部・他助成事業との連携企画詳細

stay home with the sea (佐賀県)

企画名	泳げ!みんなのお魚
告知方法	海と日本公式サイト、サガテレビ公式HP、自主CM放送
告知期間	2020年4月21日～2020年5月6日
作品応募数	91点
放送期間	2020年5月19日～2020年6月1日
放送本数	告知15秒×87本 本編15秒×182本
その他	応募者からは、「家にいる時間を有意義に過ごせてよかったです。」「思いを込めてイラストを作りました。」などの問い合わせが多く、反響が大きかった。これを受けて、CMに露出できなかったものを含めた全ての作品を公式HPにギャラリーとして掲載することを急遽決めた。これに関しても応募者からは、「嬉しいです。」「楽しみにしています。」などのコメントが届いた。



泳げ!みんなのお魚プロジェクト。



思いがこもった海の生き物を
実際に泳がせてみました!



海はいつまでも君たちを
待ってるよ!



「海と日本」プロジェクトin佐賀県
Karakanda Project in Saga

©2020 KARAOKA PROJECT. ALL RIGHTS RESERVED.

海と日本!

6-(2) 本部・他助成事業との連携企画詳細

stay home with the sea (佐賀県)

企画名	コロナウイルスに負けるな! うみダンス!
拡散方法	公式サイト、サガテレビ公式LINE・Twitter・Facebook、自主CM放送
放送日	2020年5月23日(土曜日)
放送本数	本編120秒×1本
出演者	<ul style="list-style-type: none"> ・平川邦明(サガテレビアナウンサー) ・堀江舞(サガテレビアナウンサー) ・橋爪和泉(推進リーダー・サガテレビアナウンサー)
その他	



「#日本財団」「#海と日本」「#おうちで海法」で投稿してね!
Facebook/Twitter/Instagram

海と日本プロジェクト in 佐賀の実施は、佐賀県と佐賀市との協賛によるもので、日本財団の協賛によるものではありません。

6-(2) 本部・他助成事業との連携企画詳細

stay home with the sea (佐賀県)

企画名	おうちで海ごはん(さばける塾主催)
拡散協力	公式サイト、自主CM放送
放送日	2020年5月30日(土曜日)
放送本数	本編120秒×1本
放送内容	<p>■出演者 土田和美(ママさん栄養士)</p> <p>■メニュー 料理名: 鰹の海苔チーズピカタ</p> <p>佐賀県唐津産「鰹」、有明海産「海苔」を使用し、家庭で簡単にできる海ごはんレシピを紹介。 佐賀の特産物を組み合わせて、タンパク質、カルシウム、ミネラルなどの栄養も豊富で、成長期のお子さんにもお勧めできる美味しい料理を作った。</p>
その他	



※このCMはプロジェクトの推進のために制作されたもので、権利は佐賀県に帰属します。

6-(2) 本部・他助成事業との連携企画詳細

stay home with the sea (佐賀県)

企画名	海モノづくり(海の折り紙)
拡散方法	公式サイト、自主CM放送、Facebook
放送日	2020年5月31日(日曜日)
放送本数	本編120秒×1本
出演者	出演者: 折り紙プロジェクト 「折り紙プロジェクト」は、自分たちで作った折り紙を、チャリティイベントなどで販売し、収益を、震災のあった東北や熊本、さらにはアフガニスタンなどに寄付している。
内容	折り紙プロジェクトは4年前に発足し、現在は16人のメンバーから構成されている。メンバーは海が大好きで、撮影当日は一部のメンバーはオンラインで参加し、地元の海を守りたい、困っている人たちを助けたいという思いで、みんなで海の生き物などの折り紙を作った。



日本財団 海と日本
stay home
with the sea

「日本財団」「海と日本」「おうちで海法」で投稿してね!
Facebook/Twitter/Instagram

※海と日本プロジェクトは、被災地の復興支援と海と日本プロジェクトの推進を目的として立ち上げられています。

6-(2) 本部・他助成事業との連携企画詳細

イベント名	CHANGE FOR THE BLUE (海ごみゼロアワード・海ごみゼロウィーク)
内容	“これ以上海にごみを出さない”という社会全体の意識を高めるムーブメントを起こすため、産官学民からなる12のステークホルダーと連携し、海洋ごみの削減モデルを作り、国内外に発信するプロジェクト「CHANGE FOR THE BLUE」と下記の取組を行った。
海ごみゼロアワード	<p>海洋ごみ対策に関して、優れたモデルとなるような取り組みを募集。 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会では、またアワードの応募促進をすることでプロジェクトの成功に寄与した。</p> <p>■応募団体名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもラムサール観察隊 ・鹿島市ラムサール条約推進協議会 ・さがクリークネット <p>■取材・放送情報</p> <p>8月11日に「海と日本 PROJECT in 佐賀」内で海ごみゼロアワードの取材動画を放送。</p>
海ごみゼロウィーク	<p>9月12日～9月22日までを海ごみゼロウィークと定め、海洋ごみ削減のためのアクションを一斉に実施。海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会では参加募集告知を行うとともに、プロジェクトに賛同する企業・団体とごみ拾いを行った。</p> <p>■総参加人数: 1051名(ウィーク期間外含む)</p> <p>■取材・放送情報</p> <p>10月13日に「海と日本 PROJECT in 佐賀」内で海ごみゼロウィークの様子を放送。</p>

■海ごみイベント実施リスト

No	団体名	実施日時	開催場所	参加人数	ごみの数
1	アクトクリーン佐賀 参加者	2020年8月29日(土) 9:00~10:30	佐賀市東与賀海岸	700人	ごみ袋280袋分
2	第一生命佐賀支社	2020年9月19日(土) 9:00~1:00	佐賀市佐賀城公園	121人	ごみ袋40袋分
3	Hana Marche connect	2020年9月22日(火) 13:00~14:00	唐津市波戸岬 キャンプ場(つどいの広場)	130人	ごみ袋36袋分
4	サガテレビグループ	2020年10月2日(金) 8:30~9:30	佐賀市佐賀城公園	100人	ごみ袋30袋分

事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

■海ごみイベント写真



①アクトクリーン佐賀 参加者



②第一生命佐賀支社



③Hana Marche connect



④サガテレビグループ

6-(2) 本部・他助成事業との連携企画詳細

イベント名	さばける塾in佐賀(日本さばけるプロジェクト)
開催日	2020年9月13日(日曜日)
時間	14:00~17:00
開催場所	佐賀市西九州大学佐賀調理製菓専門学校
参加人数	22人
連携内容	<p>魚をさばくという行為を通じて、海への恩恵を感じてもらうためのイベント「さばける塾」を西九州大学佐賀調理製菓専門学校の協力の元、実施した。 親子9組が参加し、講師から指導を受けながら佐賀の名産、イカをさばいた。 海と日本プロジェクトの趣旨を説明し、海の現状も話すなどした。</p> <p>■メニュー ・イカのたまご詰め ・イカの Pasta</p>



6-(2) 本部・他助成事業との連携企画詳細

イベント名	海洋連盟「うみぼすグランプリ」		
連携内容	<p>海洋連盟主催の地元の海に人を集めることを目的にした参加型地方創生プロジェクト「うみぼすグランプリ」の選考、ワークショップ、ポスター活用を行った。 オリジナルイベント「SAGANキッズ 唐津の海をプロデュース～おいしく知ろう唐津の海～」内でワークショップを実施。</p> <p>■応募総数: 69 ■入賞数: 3</p>		
実施事項	①募集告知	2020年9月17日(木)	公式HP
	②ワークショップ	2020年8月22日(土)	場所: 西九州大学佐賀調理製菓専門学校 参加: 21名
	③エリア賞選考	2020年10月7日(水)	サガテレビ本社
	④ポスター活用	2020年10月20日(火)～ 2020年11月2日(月)	JR唐津線・筑肥線中吊り



6-(2) 本部・他助成事業との連携企画詳細

イベント名	スポGOMI甲子園(佐賀大会)
開催日	2020年9月19日(土曜日)
時間	10:00~12:00
開催場所	唐津市東の浜海浜公園
参加人数	27人
連携内容	<p>高校生に海洋ごみ問題を自分事化してもらうため、「海と日本プロジェクト スポGOMI 甲子園」と題し高校生を対象に全国25都道府県の代表を決めるスポGOMI大会に、エリアとして参加校の募集および実施場所の調整と、地方大会の運営サポート・取材、全国大会様子を海応援動画として放映した。 佐賀エリア大会では9チームが参加した。</p> <p>■取材・放送情報 9月19日に佐賀県大会を取材し、10月14日に海応援動画として大会の様子を放映。 佐賀県大会と11月22日全国大会の様子を合わせて、2月2日に海応援動画として放映。</p>



6-(2) 本部・他助成事業との連携企画詳細

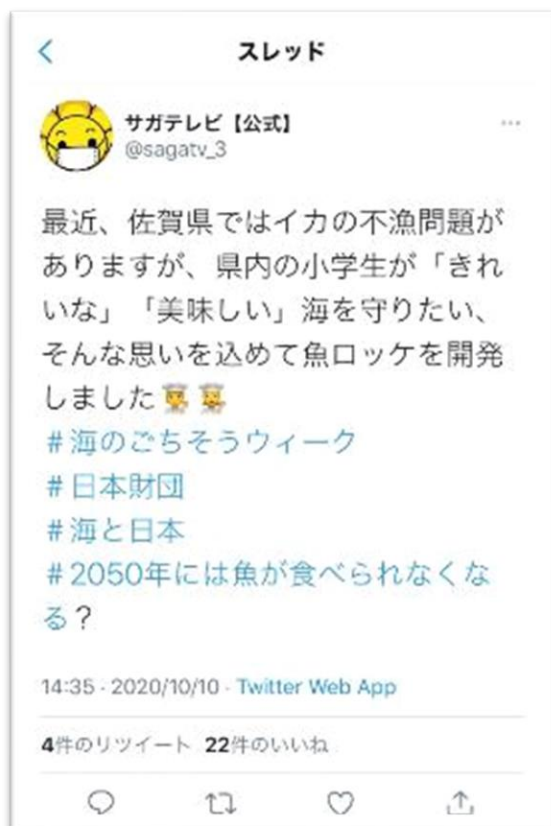
イベント名	熱源プロジェクト
内容	<p>「海と日本プロジェクト」の一環として、「熱源プロジェクト」運営事務局と連携し、熱源人材候補を紹介。また、熱源人材への取材を実施し、熱源事務局へ素材を納品した。そのほか、熱源キャラバンがエリアへ入った際の取材や、SNSでのPRに協力し、事業の推進に寄与した。</p> <p>■熱源人材候補 1)熱源人材枠</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤井 直紀(佐賀大学 農学部 特任助教・鹿島市干潟交流館 指導員) ・宗 勇人(レストランテマツシマ オーナー) <p>■取材動画は応援動画としても放送。 9月30日「海と日本 PROJECT in佐賀」 11:20～11:25 放送</p>



6-(2) 本部・他助成事業との連携企画詳細

海のごちそうウィーク(佐賀県)

企画名	海のごちそうウィークSNS発信
発信媒体	サガテレビ公式Twitter
実施内容	<p>“海のごちそうを食べる”ということを通じて、海のことを知って考える1週間(10月10日～10月16日)である「海のごちそうウィーク」と連携し、佐賀県で海のごちそうウィークに関する発信を行った。</p> <p>本文ではオリジナルイベント開発した魚ロックについて紹介するとともに、イカの不漁問題を絡めることで、海洋問題に関する意識啓発およびウィークの盛り上げに寄与した。</p>



6-(2) 本部・他助成事業との連携企画詳細

イベント名	海とMAGNET
内容	<p>「海と日本プロジェクト」の一環として、「海とMAGNETプロジェクト」運営事務局と連携し下記の取り組みを行った。</p> <p>■ 推進パートナーと連携したアニメ上映会 制作されたアニメを活用し、アニメの上映会を行った。 本編のほか、副教材資料も活用し放送した。 日時: 2021年1月31日(日曜日) 参加人数: 18名</p> <p>■ 上映会の様子を海応援動画として放送 2月9日(火曜日)11時25分～「海と日本PROJECT in 佐賀」にて放送を実施。</p>



6-(2) 本部・他助成事業との連携企画詳細

イベント名	海と日本ニュースプロジェクト2020
納品日	2021年2月25日(木曜日)
連携内容	「あの人はいま」というテーマで海と日本プロジェクトによってこれまで変化があったものについて取材し、ソーシャルイノベーションニュースサイトへ掲載できるよう納品した。
動画内容	<p>秋になると一面が真っ赤に染まり、干潟の風物詩となっていた植物、シチメンソウ。ここ数年ずっと立ち枯れている様子を海と日本プロジェクトin佐賀で昨年お伝えしました。</p> <p>原因も分からず、突然育たなくなったシチメンソウですが、それが今年、見事また美しい姿を見せてくれました。そこには、市民の関心の高まりが影響したようです。</p> <p>●佐賀市東与賀支所 総務・地域振興グループ 飯田 豊一さん 「ボランティアと一緒に種まき、それと海岸の清掃をやってきました。去年は毎日調査・観察を行っていました」</p> <p>●佐賀大学 農学部 郡山 益実准教授 「新聞とかテレビで取り上げられる回数が多くなっているの、その辺は関心が高くなっているのではないかと思います」</p> <p>しかし、教授によると根本的な原因はまだわかっていないとのこと。今後も持続的な保全活動が必要とされています。</p>



事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

7.オリジナルイベント

7-(1) オリジナルイベント開催概要

イベントタイトル	SAGANキッズ 唐津の海をプロデュース～おいしく知ろう唐津の海～
イベント概要	<p>唐津には虹ノ松原で代表される美しい砂浜や、波の侵食によってできた玄武岩柱状節理の豪快な洞窟七ツ釜などがあり、映画「グランブルー」で有名な、伝説のフリーダイバー・ジャックマイヨールが愛した美しい海としても知られています。しかし、近年のごみ問題や海水温上昇など変化が起きているのが現状です。</p> <p>美しい海を守り次の世代への引き継ぐために、本イベントを通し、唐津の海の現状、起きている課題、時代の変化に伴う問題点などを学んでもらいます。</p> <p>最後は海の現状を伝えることを意識し、佐賀のソウルフードであるオリジナル魚ロッケの開発し、発信します。</p>
実施期間	2020年8月1日(土曜日)、2020年8月22日(土曜日)
開催場所	<p>8月1日 串浦漁港、唐津市民交流プラザ、藤川蒲鉾</p> <p>8月22日 西九州大学佐賀調理製菓専門学校</p>
参加人数	21人(小学5年生11名、小学6年生10名)
主催	海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会
共催	なし
協力	<p>佐賀県有明海漁業協同組合 串浦支所 佐賀県玄海水産振興センター 藤川蒲鉾 西九州大学佐賀調理製菓専門学校</p>
事業目標	<ol style="list-style-type: none"> SAGANキッズの結成 佐賀県全域から小学5・6年生を20名募集 SAGANキッズによるワークショップ① 参加小学生に唐津の海の現状を理解してもらう SAGANキッズによるワークショップ② 参加小学生に唐津の海の環境の変化について理解を深めてもらう SAGANキッズによるワークショップ③ 参加小学生に学んだことをもとに「オリジナル魚ロッケ」を考案してもらう 参加小学生に「オリジナル魚ロッケ」を開発してもらう 「SAGANキッズ魚ロッケ」を販売 藤川蒲鉾と唐津うまかもん市場で販売し、オリジナル魚ロッケを周知

7-(2) イベント詳細

イベント詳細	
	<p>1. SAGANキッズの結成 (1)時期: 2020年7月7日(土)～2020年7月13日(土) (2)募集: 佐賀県全域から小学5・6年生を20名募集</p> <p>2. SAGANキッズによるワークショップ① (1)時期: 2020年8月1日(土) 9:30～13:30 (2)場所: 佐賀県唐津市 (3)参加者: 21名(小学5年生11名、小学6年生10名) (4)内容: 串浦漁港の漁師である増本さんに、唐津の海の特徴、海洋問題、特にイカの不漁問題を軸に、近年の漁獲量の変化や唐津の海に対する思いを話してもらった。 また、小型定置網漁を参加者に体験してもらい、イカなどの獲れた魚介類を使い、バーベキュー・刺身を美食することで、海の問題を自分ごと化させた。</p> <p>3. SAGANキッズによるワークショップ② (1)時期: 2020年8月1日(土) 14:25～15:15 (2)場所: 佐賀県唐津市 (3)参加者: 21名(小学5年生11名・6年生10名) (4)内容: 玄海水産振興センターの増田さんによる講演。唐津の名産であるイカの不漁問題、その原因と推測されているCO2による地球温暖化、排水、海洋ごみの問題を取り上げ、人間の生活が海の環境に影響を与えていることを学んでもらった。</p> <p>4. SAGANキッズによるワークショップ③ (1)時期: 2020年8月1日(土) 15:45～17:00 2020年8月22日(土) 9:00～13:00 (2)場所: 佐賀県唐津市、佐賀県佐賀市 (3)参加者: 21名(小学5年生11名・6年生10名) (4)内容: 1日目は、佐賀で魚ロッケの発祥の地である藤川蒲鉾の工場見学。代表の藤川さんに魚ロッケの開発秘話や唐津の海はこうなってほしいなど想いを語ってもらった。 2日目は、西九州大学佐賀調理製菓専門学校にて、これまで聞いてきた話や体験をもとに参加者をグループにわけて、オリジナル魚ロッケの開発を行った。唐津の海をもっと知ってもらうために、グループごとに、イカを中心に佐賀の海産物を使いどんな魚ロッケにするのか話しあい、実際に調理を行った。</p> <p>5. 「SAGANキッズ魚ロッケ」を販売 (1)時期: 2020年10月2日(土)～2020年10月18日(月) (2)場所: 佐賀県唐津市 (3)内容: 藤川蒲鉾と唐津うまかもん市場でワークショップで開発したオリジナル魚ロッケを限定販売。「SAGANキッズ魚ロッケ」と銘打ち、子どもたちの想いなどがわかってもらえるように販売。購入者からは「やさしい味で美味しい」「子どもたちの真剣な気持ちが伝わってきた」などの感想が寄せられた。</p>

7-(2) イベント写真

SAGANキッズによるワークショップ①



SAGANキッズによるワークショップ②




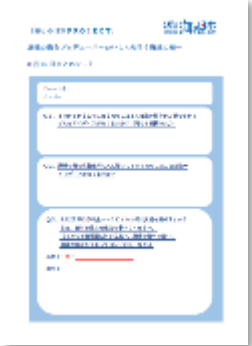
SAGANキッズによるワークショップ③



「SAGANキッズ魚ロquette」を販売



7-(3) その他

<p>配布物</p>	<p>①認定証(おほしんたろうさん作) 21部</p>  <p>②ワークショップまとめシート 21部</p> 
<p>目標の達成状況</p>	<p>1の達成状況: キャンセルを見込んで多めに募集を受け付けたので、その結果定員より1名多い21名の参加となった。</p> <p>2の達成状況: 実際の漁を通して漁業従事者のたいへんさを学び、実食を通して海の生き物へのありがたみを一人ひとりが考えていた。</p> <p>3の達成状況: 海の生き物を守るために海をきれいにすること、特に「きれいにする」ということが具体的にどうすることなのかを海のプロから学ぶことで、参加者自身がこれからとるべきアクションを想像できていた。</p> <p>4の達成状況: みんなの想いを集約し「SAGAN魚ロック」が完成。 どのグループも海に対する思いの強さからやる気に満ち溢れており、レシピを2種類以上開発するグループも見られた。</p> <p>5の達成状況: 子供たちの海に対する思いが込められた魚ロックや、子供たちが想いを込めて制作したポスターをパッケージデザインとして起用したことなどから、熱意を感じ取った藤川蒲鉾さんが好意的に協力してくれた。購入した人からの感想も子供たちの熱意が伝わったことが感じられた。用意していた魚ロック200個は予定よりも早く完売した。</p> <p>事業実施によって得られた成果: 感想を求めたときに、体験した感想だけではなく、これから自分はどうしていきたいかというアクションの面まで答えられていたことが印象的でよかった。体験で終わらずに、持続的な問題への意識が続いていくような取り組みができた。</p> <p>成功したこととその要因: 実際の漁体験や海のプロの講義を受けたことにより、唐津の海への関心が高まるとともに、海の問題に対する理解も深まった。魚ロックづくりに関しては、体験・学習で学んだことから調理に移るとい流れもあり、魚ロックを食べた人が海の問題を知ってもらうための真剣な話し合いができていた。その成果もあり、子供たちが意欲を持って海への想いを込めた魚ロックを開発できている点良かった。</p> <p>失敗したこととその要因: 魚ロックのPR不足。販売期間が終わってからイベントのことを知った人が食べられなかったことを悔やんでいたため、販売場所を増やす、販売していることをもっとPRすることが必要であった。</p> <p>活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案: 前回の課題を踏まえて夏休みの時期に実施はできたが、1日目と2日目の開催期間を空いていたため、海に対する思いが途切れないよう宿題を出すなどの対策をしていたが、思いが薄まっている子供がいたので、さらなる工夫が必要だった。もしくは、イベント日程設計を考える必要があった。</p>

7-(4) メディア露出状況

自社媒体

・募集告知CM 2020年7月7日～7月13日 89本

・海応援動画 2020年8月26日、9月2日



他媒体

なし

事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

8. 首都圏PRイベント

8 首都圏PRイベント詳細

開催日時	2020年10月3日(土)～4日(日) 10:00～19:30
イベント名	全国海の贈り物フェア 2020 by 海と日本プロジェクト
開催場所	新宿タカシマヤタイムズスクエア 2階・JR 口特設会場 (東京都新宿区)
来場者数	5,000人
レポート	<p>■ イベントの目的 新宿タカシマヤタイムズスクエア 2階・JR 口特設会場で全国から29エリア(県)が集まり、各エリア選りすぐりの海産物を販売し、海と日本プロジェクトをPR。</p> <p>主催: 全国海の贈り物フェア運営事務局 協力: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会、有明海漁業協同組合</p> <p>■ 当日の様子</p> <p>佐賀県からは海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会の推進パートナーである「有明海漁業協同組合」の協力の元、海苔の佃煮と赤貝の缶詰を販売した。手に取った人からは、「東京では珍しいものが買えてよかった。」など声があった。また、イベント会場では、「海と日本プロジェクト」のポスターの掲示や、ステージイベントなども開催され、佐賀県の特産品販売と共に海と日本プロジェクトのPRに貢献した。</p>



事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

9. その他の放送実績

事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

9-(1) その他の放送実績リスト

ID	放送日	放送時間	放送内容	放送尺 (秒)
佐賀県-D01	2020/5/27	17:16~17:19	日本財団記者発表 (コロナウイルス支援第三弾)	67秒
佐賀県-D02	2020/10/6	18:18~18:21	海の贈り物フェア	60秒
佐賀県-D03	2021/1/20	17:19~17:22	日本財団記者発表 (PCR検査センターの設置)	75秒

9-(2) その他の放送実績詳細

ID	佐賀県-D01
放送日時	5月27日(水曜日) 17:16~17:19
番組名	かちかちPress
放送内容	<p>日本財団は、新型コロナウイルスと自然災害に同時に対応するような事態に備え、全国の救急医療施設を対象にドクターカーの配備などに、総額50億円を支援すると発表しました。</p> <p>日本財団によりますと、今回の支援は今後感染の第二波、第三波や、同時に自然災害が起きた場合でも、救急医療が維持できるようにするのが狙いです。全国139の救急医療施設を主な対象に、医療従事者の防護やケア、院内感染防止のための機材購入のほか、検査・治療の体制強化を図ります。多様な医療用機材を運び、現場の指揮者としても機能する特殊なドクターの配備などに総額50億円の資金支援を行うということです。</p> <p>日本財団は来年は救急医療にかかわる人材の育成も支援していくとしています。</p>
放送尺(秒)	67秒



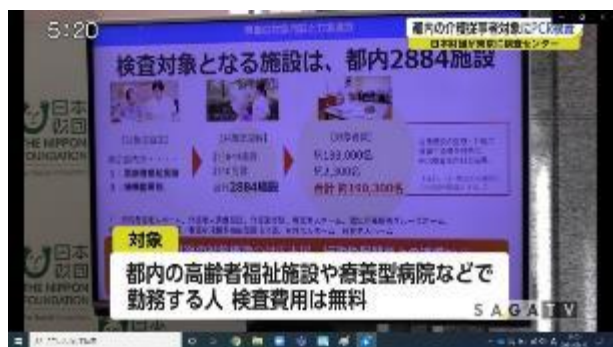
9-(2) その他の放送実績詳細

ID	佐賀県-D02
放送日時	10月6日(火曜日) 18:18~18:21
番組名	かちかちPress
放送内容	<p>海の現状を伝え次世代に引き継ぐ「海と日本プロジェクト」の一環として、都内の特設会場に、全国の海産物を集めたイベントがこのほど開かれました。</p> <p>このイベントは、日本財団が全国で展開している海と日本プロジェクトの一環として開かれたもので、今年で3年目です。都内の百貨店の特設会場に全国29の県から、選りすぐりの海産物およそ80点が並びました。</p> <p>このうち佐賀県からは、いずれも有明海産の生海苔の佃煮と赤貝の缶詰が出品され、人気を集めていました。</p> <p>イベントの運営事務局によりますと、二日間でおおよそ5000人が訪れ、佐賀の赤貝の缶詰は完売したということです。</p>
放送尺(秒)	60秒



9-(2) その他の放送実績詳細

ID	佐賀県-D03
放送日時	1月20日(水曜日) 17:19~17:22
番組名	かちかちPress
放送内容	<p>日本財団は来月から、東京都内の高齢者福祉施設に勤務する人などを対象としたPCR検査センターを設置することを決めました。</p> <p>PCR検査センターは高齢者福祉施設でクラスターの発生が全国的に増えていることから、日本財団が設置します。検査の対象となるのは都内の高齢者福祉施設や療養型の病院などで勤務する人で、費用は無料です。センターは東京都のお台場にある、日本財団災害危機サポートセンター敷地内に設置されます。運用開始は来月8日の予定で、7月までに200億円の費用を見込んでいます。1日の検査件数は2月が3,000件、4月以降は14,000件を目指すということです。</p> <p>日本財団は今回のケースをモデルとして、将来的には地方への拡大を検討しているとしています。</p>
放送尺(秒)	75秒



事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

9a. その他のCM制作・放送

事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

9a-(1) その他のCMリスト

ID	放送期間	タイトル	放送回数	尺(秒)
佐賀県-E01	2020/4/28~2020/5/6	みんなのお魚 イラスト募集	87回	15秒
佐賀県-E02	2020/7/7~2020/7/13	おいしく知ろう唐津の海 メンバー募集	89回	15秒
佐賀県-E03	2020/8/20~2020/8/23	さばける塾募集	45回	15秒
佐賀県-E04	2021/01/21~2021/1/27	サンタカンパニー上映会 参加者募集	70回	15秒

事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

9a-(2) その他のCM詳細

ID	佐賀県-E01
タイトル	みんなのお魚 イラスト募集
放送時期	2020年4月28日(水曜日)～2020年5月6日(水曜日)
放送回数	87回
放送尺(秒)	15秒



泳げ!みんなのお魚プロジェクト。



思いを込めた海の生き物のイラストを大募集!
君の作品がサガテレビで放送されるかも。

詳しくはサガテレビホームページを見てね。



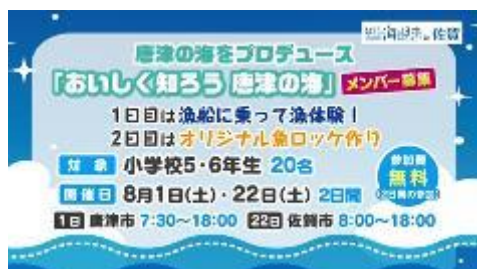
海と日本!(🎵共通サウンドロゴ)

9a-(2) その他のCM詳細

ID	佐賀県-E02
タイトル	おいしく知ろう唐津の海 メンバー募集
放送時期	2020年7月7日(火曜日)～2020年7月13日(月曜日)
放送回数	89回
放送尺(秒)	15秒



海と日本プロジェクト「おいしく知ろう 唐津の海」
メンバー募集中！



8月1日と22日の二日間、ご覧の内容で開催。
小学生のみんな、集まれ～



海と日本！(♫共通サウンドロゴ)

事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

9a-(2) その他のCM詳細

ID	佐賀県-E03
タイトル	さばける塾募集
放送時期	2020年8月20日(木曜日)～2020年8月23日(日曜日)
放送回数	45回
放送尺(秒)	15秒



海と日本さばける塾参加者大募集!



9月13日日曜、ご覧の内容で開催いたします。
参加費は無料!

お問い合わせ、お申し込みは、佐賀調理製菓専門学校まで



海と日本!(🎵共通サウンドロゴ)

事業ID: 2019522375

事業名: 海と日本プロジェクトin佐賀県(海と日本2020)

団体名: 海と日本プロジェクトin佐賀実行委員会

極秘

9a-(2) その他のCM詳細

ID	佐賀県-E04
タイトル	サンタカンパニー上映会 参加者募集
放送時期	2021年1月21日(木曜日)～2021年1月27日(水曜日)
放送回数	70回
放送尺(秒)	15秒



アニメ「サンタカンパニー真夏のメリークリスマス」
上映会開催！



1月31日、日曜日にご覧の内容で実施します！

参加申し込みは海と日本プロジェクトin佐賀の
ホームページまで！



海と日本！(🎵共通サウンドロゴ)